序．はじめに

１．本調査の目的

読谷村のコミュニティバス「鳳バス」は平成 21 年４月の運行開始から６年目を迎える。

運行開始後、平成 22 年９月と平成 25 年７月に運行の見直しを行っている。しかし、当初の運行及びその後の見通しは、十分な事前調査に基づくものではなかった。

バス利用者数はほぼ横ばい状態で、村民にバスの必要性を明確に示すことや更なる利用者の増加などが求められている。

本調査では、村民がより利用しやすいよう運行計画を見直し、「読谷村生活交通ネットワーク計画」を策定するための基礎資料として、現状の把握や実態調査を行い、コミュニティバスの課題を導き、運行計画見直しの方向性を示すことを目的とする。

２．本調査の構成

本調査は、大きく下記の２つに区分できる。調査ごとに現状を整理し、鳳バスの再検討に向けた課題を整理し、見直しの方向性を示す。

読谷村内における交通の現況及び課題の把握

Ⅰ．地域現況調査
Ⅱ．生活利便施設等の状況調査
Ⅲ．交通・道路状況調査
Ⅳ．公共交通状況調査

「鳳バス」の現況及び課題の把握

Ⅴ．「鳳バス」の運行についての村民アンケート調査
Ⅵ．「鳳バス」の運行についての利用者アンケート調査
Ⅶ．村民アンケート調査と利用者アンケート調査の比較
Ⅷ．観光客アンケート調査
Ⅸ．「鳳バス」乗込み調査

↓

「鳳バス」再検討に向けた現況及び課題の整理

Ⅹ．公共交通不便地域の状況
Ⅺ．「鳳バス」見直しの方向性

３．本調査の対象範囲

本調査は読谷村全域を対象範囲とする。

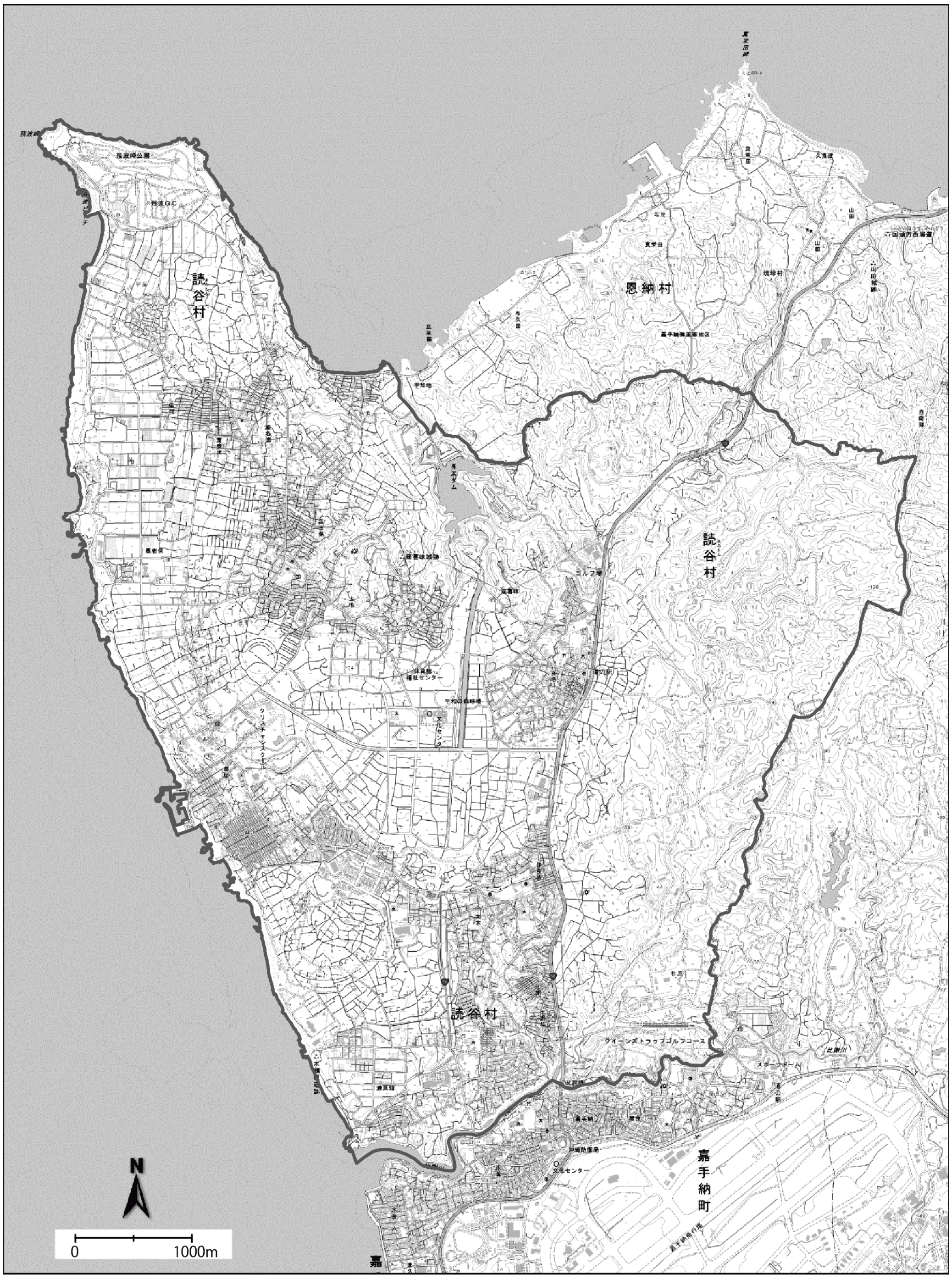


図　本調査の対象範囲

Ⅰ．地域現況調査

１．位置と地勢

１）位置・地勢

①位置

読谷村は、東経 127 度 44 分、北緯 26 度 23 分、沖縄本島中部の西海岸、県都那覇市より北に 28km に位置している。北側が恩納村、南側及び東側が嘉手納町、東側が沖縄市に隣接し、北西側と西側は東シナ海に面している。

村域は東シナ海に突き出た半島状の形状をなしており、沖縄本島の幹線道路である国道 58 号が本村を縦断している。

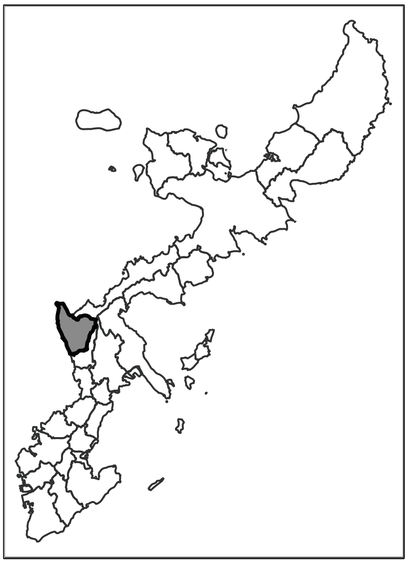


図 読谷村の位置

②面積

総面積は 35.28km^2 で、県下 18 番目の大きさである。村域は東西が約 5.7km、南北が約 5.8km で、ほぼ同じである。12.59km^2 が米軍基地であり、総面積に占める割合は 35.7%に達している。

土地利用の内訳は米軍基地を含む雑種地が 50.7%と半数を超えており、次いで畑、宅地、その他の順になっている。

表 地目別土地面積の推移

単位：千㎡

区分＼年次	総面積	地目別面積							
		田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
平成 15 年	35, 170	－	4, 951	4, 285	6	589	2, 059	18, 430	4, 853
平成 16 年	35, 170	－	4, 919	4, 315	6	589	2, 116	18, 475	4, 750
平成 17 年	35, 170	－	4, 919	4, 355	6	589	2, 104	18, 466	4, 731
平成 18 年	35, 170	－	5, 124	4, 366	6	733	2, 007	19, 143	3, 791
平成 19 年	35, 170	－	6, 119	4, 426	6	730	2, 133	17, 859	3, 897
平成 20 年	35, 170	－	6, 056	4, 488	6	727	2, 120	17, 843	3, 930
平成 21 年	35, 170	－	6, 035	4, 574	6	727	2, 112	17, 769	3, 948
平成 22 年	35, 170	－	5, 989	4, 623	6	557	1, 989	18, 012	3, 995
平成 23 年	35, 170	－	5, 992	4, 686	6	557	2, 116	17, 795	4, 018
平成 24 年	35, 170	－	5, 909	4, 712	6	557	1, 968	17, 822	4, 196

※米軍基地は雑種地に含む。
※最新の全国都道府県市区町村別面積調（平成 26 年 10 月 1 日現在、国土地理院）による総面積は、計測方法の変更等により 35.28km^2 となっている。

資料：税務課資料

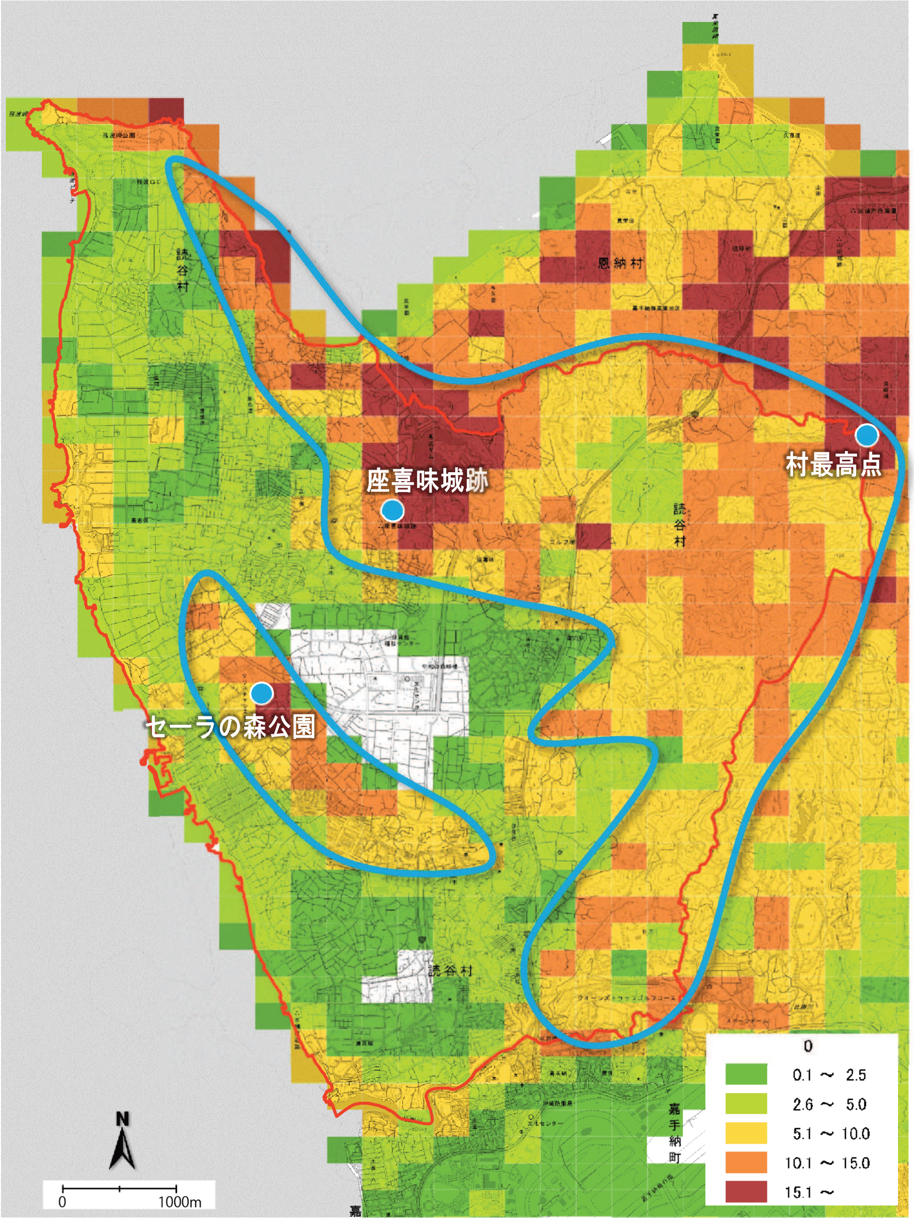
2）地形･地質

本村の地形及び地質は国道 58 号を境に大きく２つに分かれている。

東側は海抜 200m の読谷山岳を頂点とする緩やかな丘陵傾斜地で、尾根と谷間が入り組んでいる。ここでは「名護層」や「嘉陽層」など古い地層が見られる。

西側は海抜 130m の座喜味城跡のある丘を頂点にカルスト台地が広がり、段丘をもって海岸へ続いている。地形的には、東側よりも緩やかで平坦となっている。ここではサンゴ礁が隆起した「琉球石灰岩」を主体とする新しい地層が見られる。

最大傾斜度のメッシュ図を以下に示すが、国道 58 号より東側は連続して傾斜度がきつくなっている。国道 58 号より西側についても、座喜味城跡から残波岬に向かって傾斜度がきつくなっている。それよりも西側については、セーラの森公園の周辺を除き、北の残波岬から南の比謝川まで比較的平坦な地形が続いている。



資料：国土数値情報　標高・傾斜度５次メッシュデータ

図　最大傾斜度メッシュ図

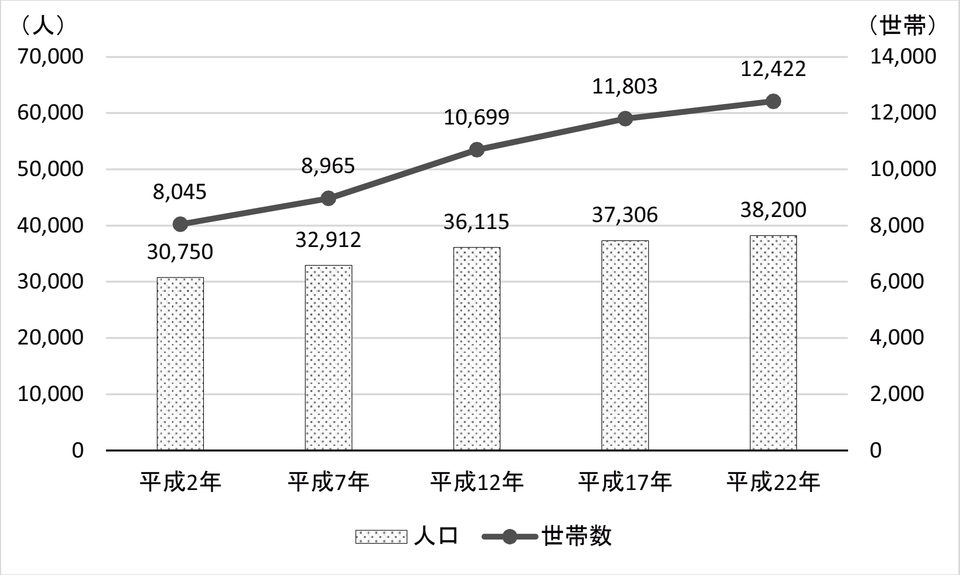
2．人口･世帯

1）読谷村全体の傾向

①人口と世帯数の推移

本村は、平成 26 年 1 月 1 日に「日本一人口の多い村」となった。平成 27 年 2 月末現在の人口は 40,691 人、世帯数は 14,903 世帯である。

国勢調査より人口及び世帯数の推移をみると、どちらも増加傾向にあり、平成 7 年から平成 12 年にかけて大きく増加している。

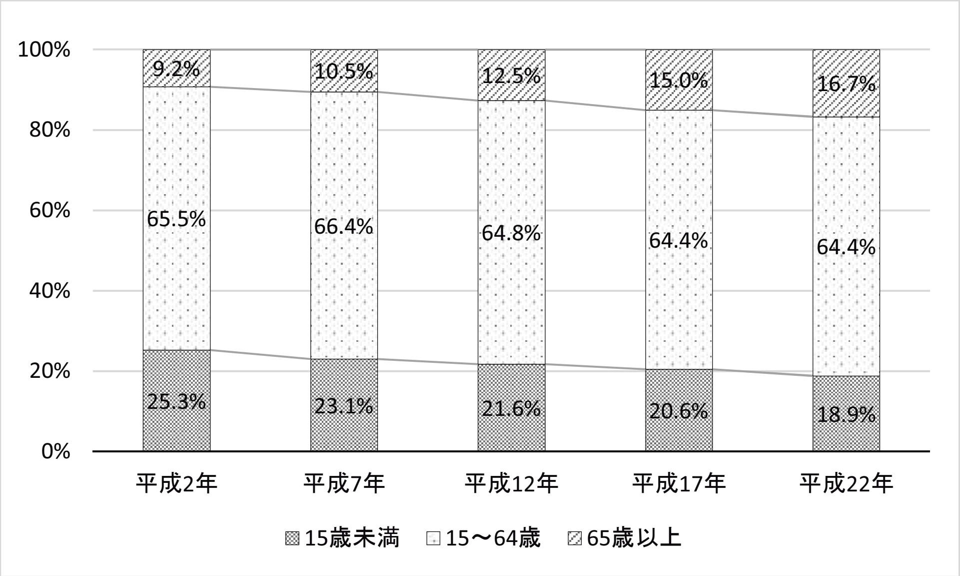


資料：国勢調査時系列データ

グラフ　読谷村の年齢構成比の推移

②年齢構成比の推移

年齢構成比の推移をみると、15 歳未満の構成比は減少傾向にあり、15～64 歳の構成比はほぼ横ばいである。一方、高齢化率を示す 65 歳以上の構成比は大幅な増加が続いており、平成 22 年には 16.7%に達している。本村でも少子高齢化が進んでいるといえる。



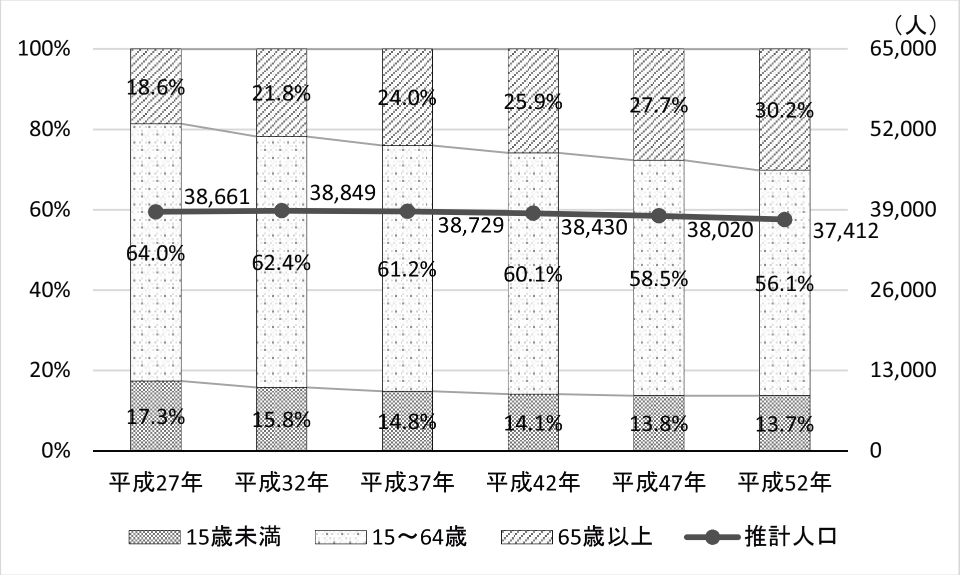
資料：国勢調査時系列データ

グラフ　読谷村の年齢構成比の推移

③将来推計人口と予測年齢構成比

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によると、本村の人口は平成 32 年をピークに減少に転じている。ただし、緩やかな減少で推移するため、平成 52 年の段階では 37,412 人となっている。

年齢構成比の推移をみると、15 歳未満の構成比は減少傾向にあるものの、平成 37 年以降はほぼ横ばいとなっている。15～64 歳の構成比が減少し、その分 65 歳以上の構成比が増加している。高齢化率は、平成 52 年には 3 割を超えることになる。



資料：国立社会保障・人口問題研究所　地域別将来推計人口（H25.03）

グラフ　読谷村の将来推計人口と予測年齢構成比の推移

④障がい者人口

平成24年度の身体障害者手帳所持者数は1,710人、療育手帳所持者数は324人であり、共にやや増加傾向にある。

身体障害の障害種別の内訳をみると、肢体不自由が最も多く、内部疾患が続いている。

表　身体障害者手帳及び療育手帳交付状況

単位:人

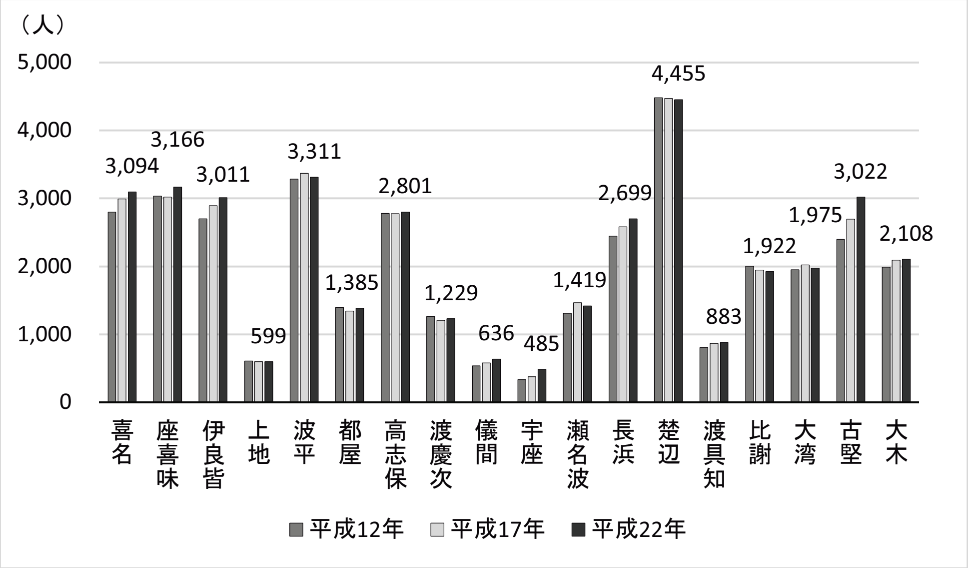
種別 / 年度	身体障害者手帳						療育手帳〈知的障害者〉
	総計	視覚障害	聴覚障害	言語障害	肢体不自由	内部疾患	
平成20年度	1,414	92	166	16	630	510	260
平成21年度	1,526	100	178	16	674	558	284
平成22年度	1,658	109	203	16	723	607	317
平成23年度	1,672	92	194	14	738	634	313
平成24年度	1,710	92	208	15	738	657	324

資料：福祉課資料

2）字別の傾向

①人口の推移

字別の人口を整理すると、人口が最も多い字は楚辺、最も少ない字は宇座となっている。推移をみると、概ね横ばいまたは増加傾向にあり、特に古堅では顕著に増加がみられる。一方、波平や瀬名波、大湾、比謝、楚辺では平成 17 年から平成 22 年にかけ減少している。

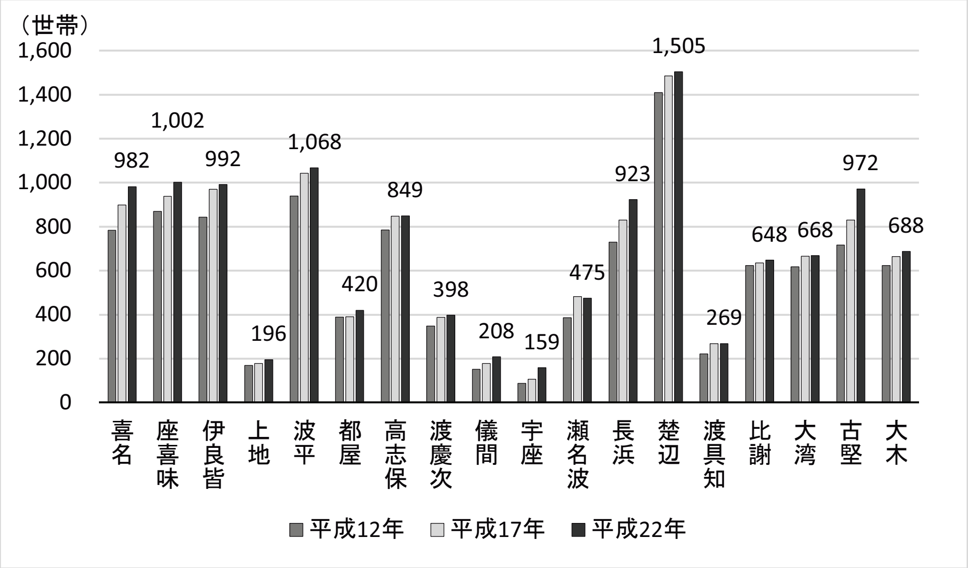


資料：国勢調査（H12,H17,H22）、数字は H22 の値

グラフ　字別人口とその推移

②世帯数の推移

字別の世帯数を整理すると、人口と同様、世帯数が最も多い字は楚辺、最も少ない字は宇座となっている。推移をみると、概ね増加傾向にあり、平成 17 年から平成 22 年にかけ減少したのは瀬名波だけである。

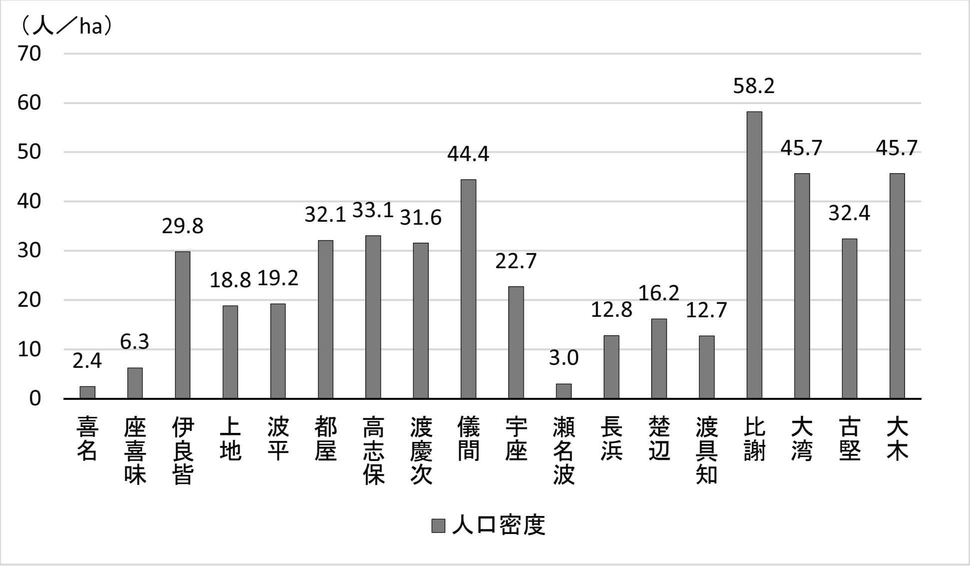


資料：国勢調査（H12,H17,H22）、数字は H22 の値

グラフ　字別世帯数とその推移

③人口密度

人口密度の最も高い字は比謝、次いで大湾、大木となっている。最も低い字は喜名である。

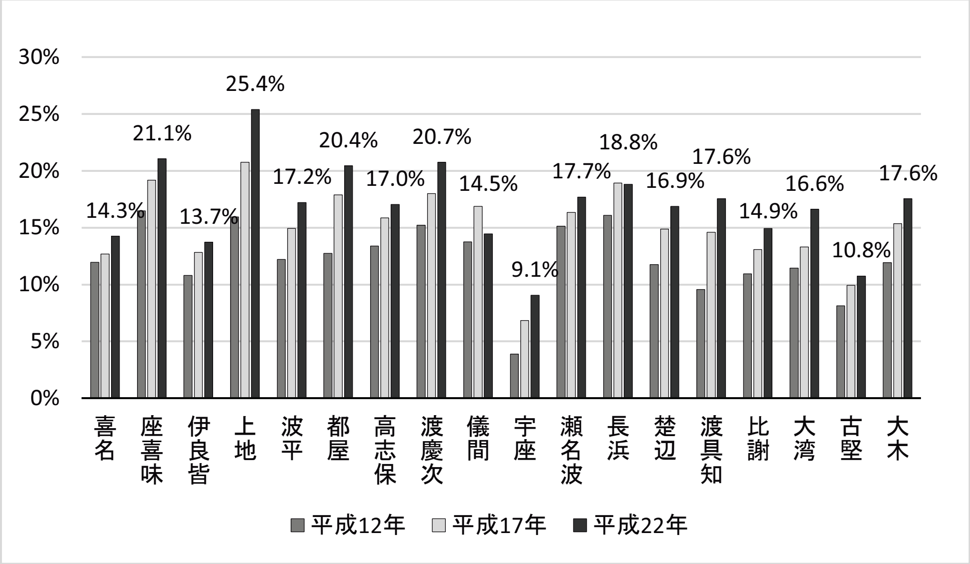


資料：国勢調査（H22)、面積は地図でみる統計

グラフ　字別人口密度

④高齢化率の推移

字別の高齢化率をみると、高齢化率が最も高い字は上地、最も低いのは宇座となっており、宇座では高齢化率が 10%を切っている。概ね高齢化率は高くなる傾向にあるが、儀間のみ平成 17 年から平成 22 年にかけ減少している。



資料：国勢調査（H12,H17,H22)、数字は H22 の値

グラフ　字別高齢化率とその推移

３．学校の状況

１）村内の学校

①幼稚園

村内には５つの村立幼稚園と２つの私立幼稚園がある。平成 26 年度の村立幼稚園の園児数は計 369 人、私立は計 133 人で、合計は 502 人となっている。

表　読谷村内の幼稚園の概要

種別	幼稚園名	所在地	園児数（人）	学級数
村立	渡慶次幼稚園	字渡慶次 32	77	3
	読谷幼稚園	字高志保 1295	79	3
	喜名幼稚園	字喜名 401	55	2
	古堅幼稚園	字楚辺 999-1	86	3
	古堅南幼稚園	字古堅 612-1	72	3
私立	読谷中央幼稚園	字比謝 272	93	4
	読谷こばと幼稚園	字長浜 1677	40	3

資料：沖縄県教育委員会　学校一覧（H26）

②小学校

村内には５つの村立小学校がある。平成 26 年度の児童数合計は 2,855 人である。

表　読谷村内の小学校の概要

小学校名	所在地	児童数（人）	学級数
渡慶次小学校	字瀬名波 510	491	18
読谷小学校	字高志保 1277-1	598	22
喜名小学校	字喜名 401	501	18
古堅小学校	字楚辺 999-1	610	21
古堅南小学校	字古堅 612-1	655	23

資料：沖縄県教育委員会　学校一覧（H26）

③中学校

村内には２つの村立中学校がある。平成 26 年度の生徒数合計は 1,547 人である。

表　読谷村内の中学校の概要

中学校名	所在地	生徒数（人）	学級数
読谷中学校	字座喜味 2976-2	860	25
古堅中学校	字伊良皆 297	687	21

資料：沖縄県教育委員会　学校一覧（H26）

④高等学校

村内には県立高校が１校あり、平成 26 年度の生徒数は 965 人である。

表　読谷村内の高等学校の概要

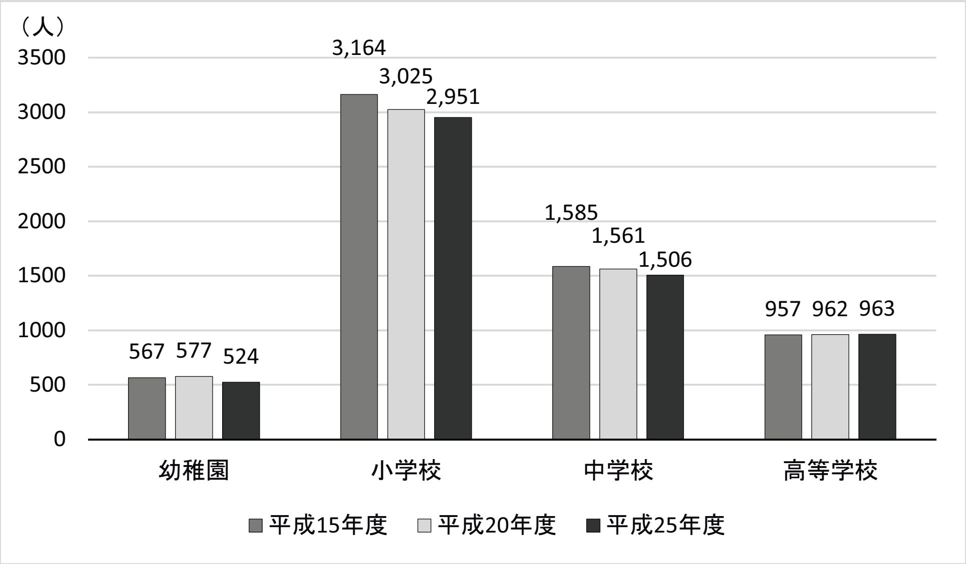
高校名	所在地	生徒数（人）	学級数
読谷高等学校	字伊良皆 198	965	24

資料：沖縄県教育委員会　学校一覧（H26）

図　小学校・中学校・高等学校の位置

２）児童生徒数の推移

村内学校の児童生徒数の推移をみると、小学校が減少傾向にある。中学校がやや減少、幼稚園と高等学校はほぼ横ばいである。



資料：県学校基本調査（H15,H20,H25）

グラフ　村内幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童生徒数の推移

Ⅱ．生活利便施設等の状況調査

1．村内の生活利便施設の分布

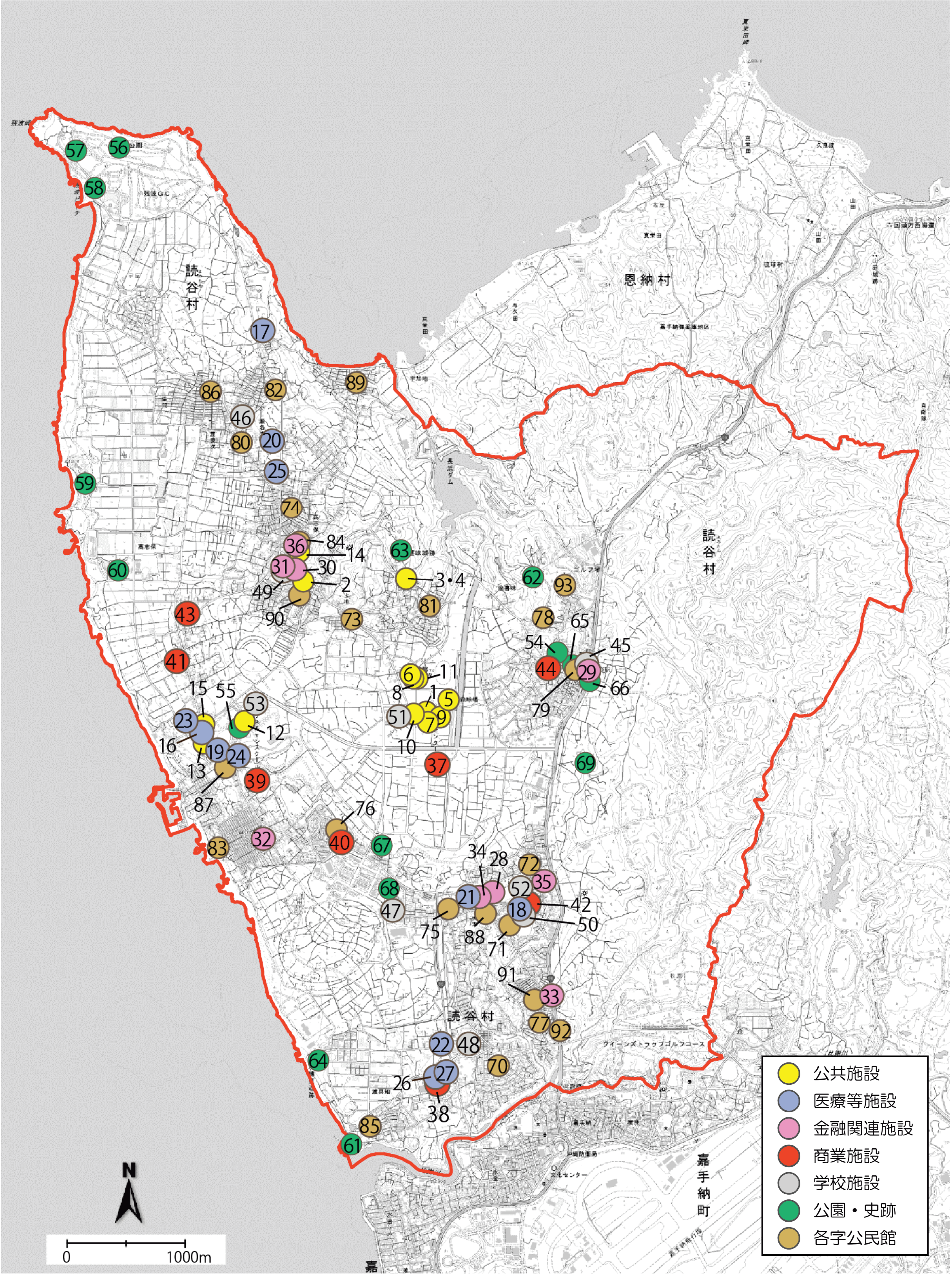
日常生活の中で住民が利用する村内の生活利便施設は、以下の通りである。

表　村内生活利便施設一覧

区分	番号	施設名
公共施設	1	読谷村役場
	2	読谷村立図書館
	3	読谷村立歴史民俗資料館
	4	読谷村立美術館
	5	平和の森球場
	6	読谷村勤労者体育センター
	7	読谷村文化センター
	8	総合運動広場
	9	ふれあい交流館
	10	健康増進センター
	11	読谷村総合福祉センター
	12	老人福祉センターセーラー苑
	13	生き活き健康センター
	14	子育て支援センター
	15	老人デイケア施設
医療等施設	16	読谷村診療所
	17	まつしまクリニック
	18	なかそね内科
	19	よみたん皮フ科
	20	ライフケアクリニック長浜
	21	よみたん眼科
	22	古堅南クリニック
	23	そけん小児科
	24	玉城ファミリークリニック
	25	よみたんクリニック
	26	かなさん内科クリニック
	27	美ら浜皮フ科クリニック
金融関連施設	28	伊良皆郵便局
	29	喜名郵便局
	30	読谷郵便局
	31	沖縄県農協読谷支店
	32	沖縄県農協楚辺出張所
	33	沖縄県農協比謝出張所
	34	沖縄銀行読谷支店
	35	琉球銀行読谷支店
	36	沖縄海邦銀行読谷支店
商業施設	37	JA読谷ゆんた市場
	38	イオンタウン読谷 ショッピングセンター
	39	マックスバリュ都屋店
	40	サンエーV21そべ食品館
	41	タウンプラザかねひで読谷店
	42	丸大読谷伊良皆店
	43	丸大読谷波平店
	44	サンマート喜名店
学校施設	45	喜名小学校
	46	渡慶次小学校
	47	古堅小学校
	48	古堅南小学校
	49	読谷小学校
	50	古堅中学校
	51	読谷中学校
	52	読谷高等学校
	53	沖縄クリスチャンスクール インターナショナル
公園・史跡	54	観音堂
	55	セーラーの森公園
	56	残波岬公園
	57	残波岬いこいの広場
	58	残波ビーチ
	59	ニライビーチ
	60	むら咲むら
	61	泊城公園
	62	やちむんの里
	63	座喜味城跡
	64	木綿原遺跡
	65	喜名古窯城跡
	66	道の駅喜名番所（喜名番所跡）
	67	赤犬子宮
	68	阿麻和利の墓
	69	尚巴志王之墓
各公民館等	70	古堅公民館
	71	牧原公民館
	72	伊良皆公民館
	73	上地集会所
	74	宇座公民館
	75	大木公民館
	76	大添公民館
	77	大湾公民館
	78	親志公民館
	79	喜名公民館
	80	儀間公民館
	81	座喜味公民館
	82	瀬名波公民館
	83	楚辺公民館
	84	高志保公民館
	85	渡具知公民館
	86	渡慶次公民館
	87	都屋公民館
	88	長田公民館
	89	長浜公民館
	90	波平公民館
	91	比謝公民館
	92	比謝矼公民館
	93	横田自治会集会所

生活利便施設の多くが国道 58 号及び県道 6 号線、12 号線の沿線に立地している。

公共施設は村役場の周辺に集積している。その他の集積地としては、読谷高校の周辺、読谷村診療所の周辺、村立図書館の周辺、道の駅喜名番所の周辺がある。



※番号は前頁に対応

資料：鳳マップ（読谷村）、地域医療情報システム（日本医師会）

図　村内の生活利便施設の位置

2．大規模プロジェクトの状況

交通流動に影響を与えると考えられる進行中の大規模プロジェクトは以下の通りである。

表　大規模プロジェクトの概要

名称	概要
大湾東土地区画整理事業	返還跡地である嘉手納弾薬庫国道東地区の一部において土地区画整理事業を実施している。面積 25.4ha で、計画人口は約 2,080 人である。現在、平成 30 年度の事業完了を目指して工事が進められている。
大木土地区画整理事業	読谷補助飛行場跡地の一部である読谷村大木地区において土地区画整理事業を計画している。面積 18.3ha で、計画人口は約 1,590 人である。
読谷道路	国道 58 号バイパスとなる延長約 6km の道路で、沖縄西海岸道路の一部を構成する。事業中であり、大木ー古堅間と喜名ー座喜味間で暫定供用している。

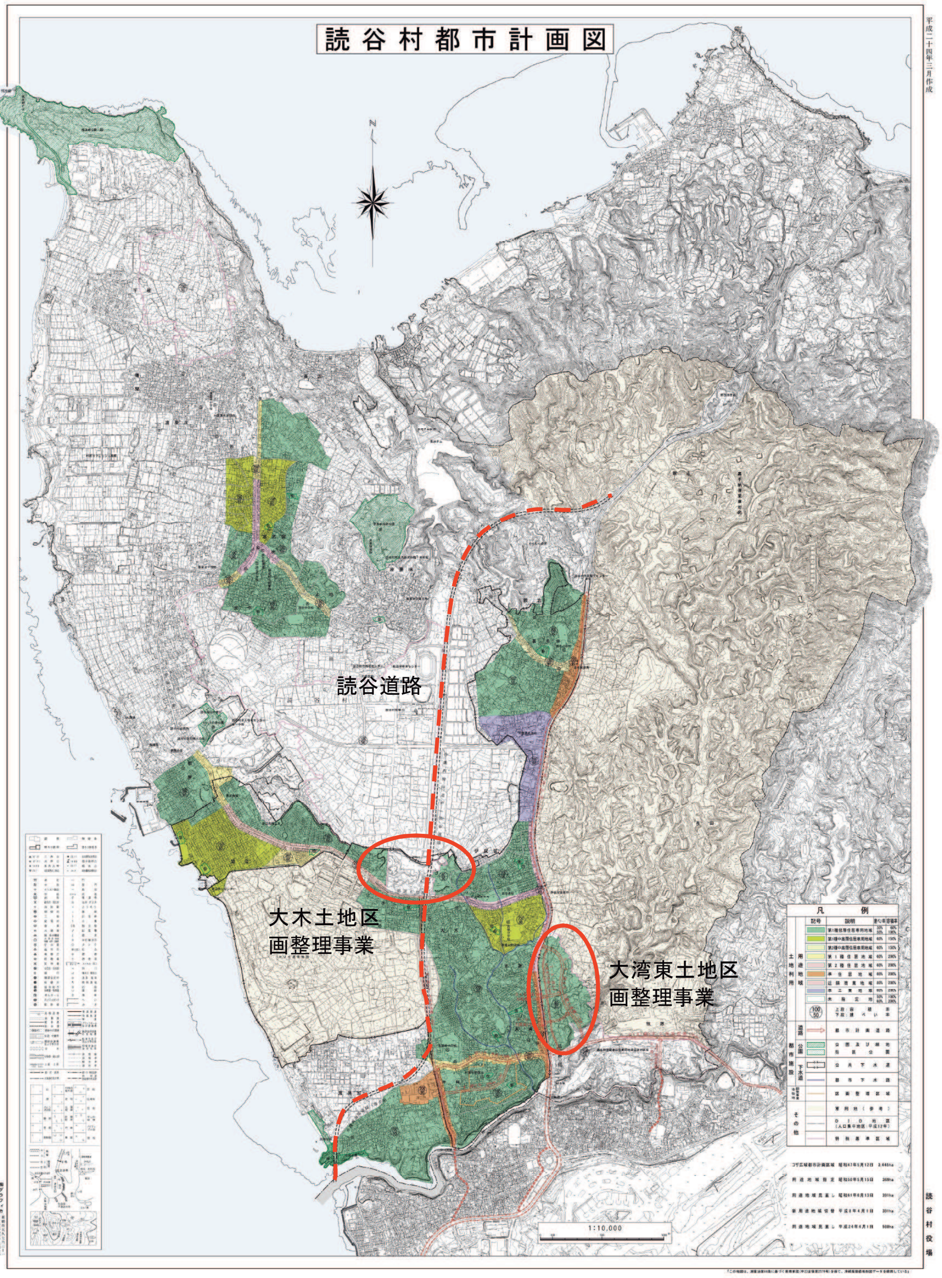


図　大規模プロジェクトの位置

Ⅲ．交通・道路状況調査

１．流動による交通状況

平成22年国勢調査によると、夜間人口（読谷村の総人口）は38,200人、昼間人口は32,604人で、昼夜間人口比率は85.4%となっており、流出が流入を大きく上回っている。

１）通勤･通学

①流出･流入

15歳以上の村内在住通勤･通学者全体を100%とすると、村内での通勤･通学者が41.4%、流出人口となる村外での通勤・通学者が55.3%となり、半数以上が流出となっている。

主な流出先は沖縄市、嘉手納町、うるま市である。村外への通勤では、沖縄市が最も多く、次いで嘉手納町、うるま市の順となっている。一方、通学は、通勤と同様に沖縄市、嘉手納町の順となっており、次いで宜野湾市となっている。

また、15歳以上の村内における（通勤･通学先を読谷村とする）通勤･通学者全体を100%とすると、流入人口である村外からの通勤・通学者は26.7%を占めている。流入人口は流出人口の半分以下にとどまっている。

主な流入元は、流出先と同様に沖縄市、嘉手納町、うるま市の順となっている。村外からの通勤は沖縄市が最も多く、次いでうるま市、嘉手納町となっている。一方、通学は嘉手納町が最も多く、次いで北谷町、恩納村となっている。

表　通勤・通学による流出人口

	総数		通勤		通学	
	実数（人）	構成比	実数（人）	構成比	実数（人）	構成比
15歳以上の村内在住通勤･通学者	18,096	100.0%	15,623	100.0%	2,473	100.0%
村内での通勤･通学者（村在住者）	7,485	41.4%	6,521	41.7%	964	39.0%
【流出人口】村外への通勤･通学者	**10,004**	**55.3%**	**8,574**	**54.9%**	**1,430**	**57.8%**
県内	8,873	49.0%	7,665	49.1%	1,208	48.8%
沖縄市	1,696	9.4%	1,402	9.0%	294	11.9%
嘉手納町	1,376	7.6%	1,121	7.2%	255	10.3%
うるま市	965	5.3%	888	5.7%	77	3.1%
宜野湾市	878	4.9%	701	4.5%	177	7.2%
北谷町	780	4.3%	752	4.8%	28	1.1%
那覇市	778	4.3%	649	4.2%	129	5.2%
浦添市	630	3.5%	581	3.7%	49	2.0%
恩納村	630	3.5%	629	4.0%	1	0.0%
その他市町村	1,140	6.3%	1,851	11.8%	420	17.0%
県外	47	0.3%	28	0.2%	19	0.8%

注１)「15歳以上の村内在住通勤・通学者」：通勤・通学先不明含む
注２)「【流出人口】村外での通勤・通学者」：通勤・通学先不明含む

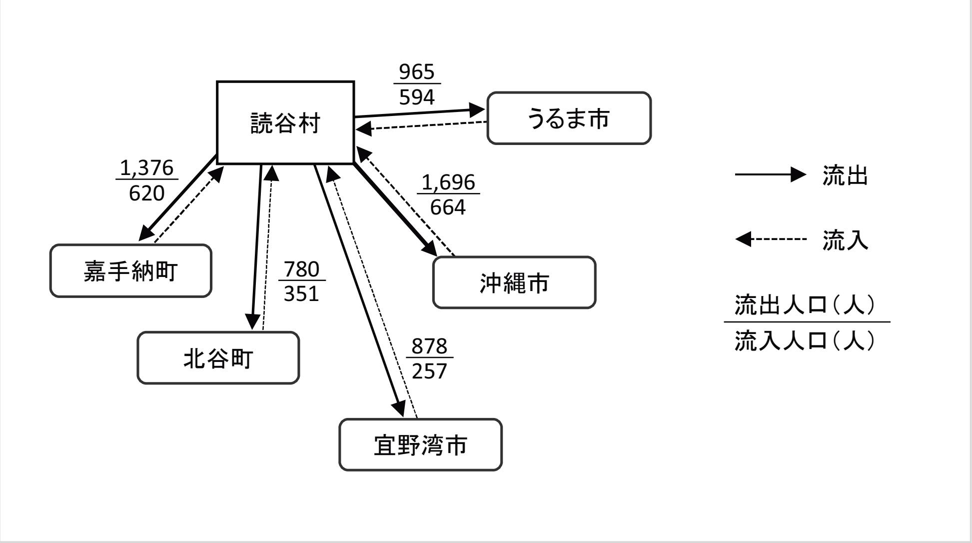
資料：国勢調査（H22）

表　通勤・通学による流入人口

	総数		通勤		通学	
	実数（人）	構成比	実数（人）	構成比	実数（人）	構成比
15歳以上の村内における通勤･通学者	12,513	100.0%	10,955	100.0%	1,558	100.0%
村内での通勤･通学者（村在住者）	7,485	59.8%	6,521	59.5%	964	61.9%
【流入人口】村外からの通勤･通学者	**3,337**	**26.7%**	**3,025**	**27.6%**	**312**	**20.0%**
県内	3,331	26.6%	3,019	27.6%	312	20.0%
沖縄市	664	5.3%	656	6.0%	8	0.5%
嘉手納町	620	5.0%	489	4.5%	131	8.4%
うるま市	594	4.7%	589	5.4%	5	0.3%
北谷町	351	2.8%	276	2.5%	75	4.8%
宜野湾市	257	2.1%	246	2.2%	11	0.7%
恩納村	240	1.9%	173	1.6%	67	4.3%
那覇市	140	1.1%	137	1.3%	3	0.2%
浦添市	144	1.2%	139	1.3%	5	0.3%
その他市町村	321	2.6%	314	2.9%	7	0.4%
県外	6	0.0%	6	0.1%	-	-

注）「15 歳以上の村内における通勤・通学者」：通勤・通学先不明含む

資料：国勢調査（H22）



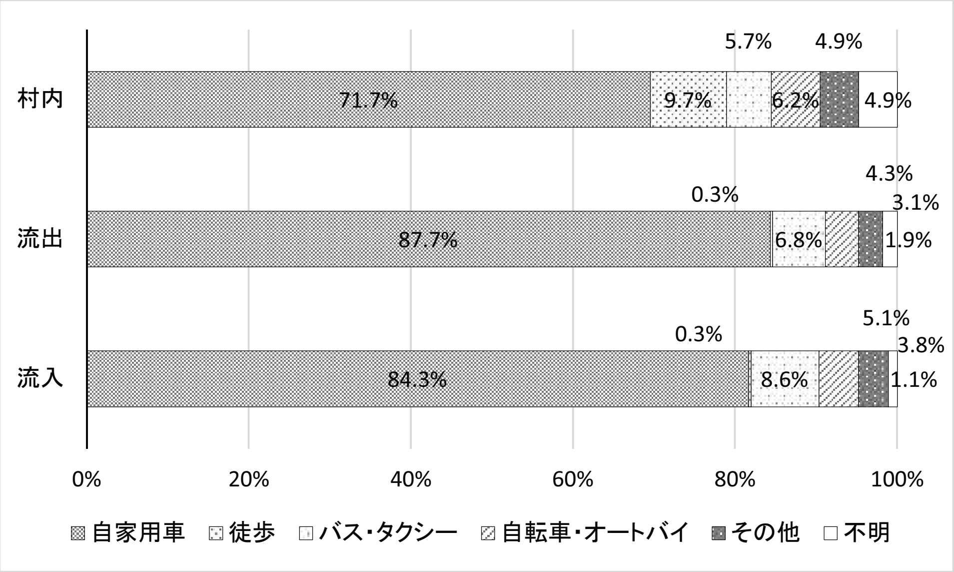
資料：国勢調査（H22）

図　通勤・通学による流出・流入の上位５市町村

②交通手段

通勤・通学における村内での交通手段は、自家用車が最も多く、次いで徒歩、自転車・オートバイの順となっている。

流出・流入（村外へ・村外から）の交通手段は、どちらも自家用車が最も多い。次いでバス・タクシー、自転車・オートバイの順となっている。流出と流入の構成比はほぼ同じである。



注 1)「バス・タクシー」…乗合バス、ハイヤー・タクシーの合計
注 2)「その他」…勤め先・学校のバス、鉄道・電車、その他の合計

資料：国勢調査（H22）

グラフ　村内及び流出・流入における交通手段分担率

2）買物

①購買率

最寄品（一般食料品）は村内が 71.6%を占めているが、買回品については、村内は 2.4%にすぎず、ほとんどが村外となっている。

経年変化をみると、平成 22 年度調査では最寄品、買回品ともに村内購買率が増加していたが、26 年度調査ではどちらも減少となった。

表　最寄品・買回品の購買率

	年度	村内	村外
最寄品（一般食料品）	平成 19 年度	68.3%	31.7%
	平成 22 年度	77.3%	22.7%
	平成 26 年度	71.6%	28.4%
買回品（買回品総合）	平成 19 年度	6.0%	94.0%
	平成 22 年度	7.0%	93.0%
	平成 26 年度	2.4%	97.6%

資料：沖縄県買物動向調査（H19,H22,H26）

②買物流動

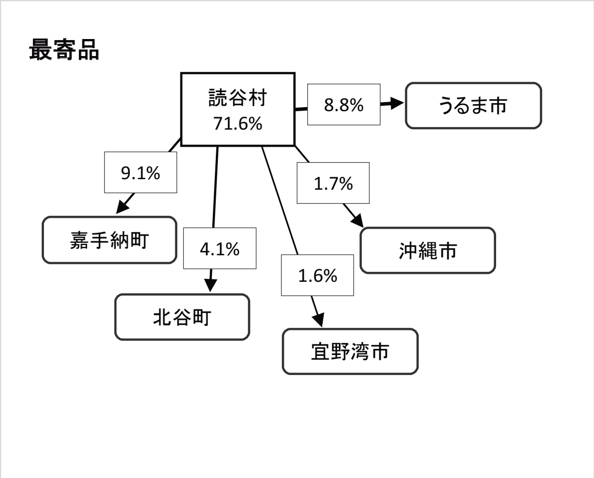
村外への買物出向比率をみると、最寄品では嘉手納町が最も多く、次いでうるま市、北谷町の順となっている。買回品では、うるま市が最も多く、半数近くを占めている。次いで北谷町、嘉手納町の順となっている。なお、買回品の買物出向比率については、沖縄市（3.6%）を含めた６市町が村内よりも高くなっている。

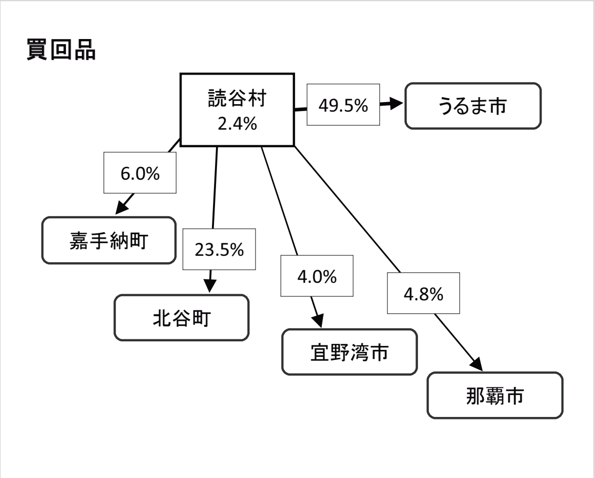
村外から村内へは、最寄品では嘉手納町や恩納村からの出向が少しみられるもの、買回品はほとんどない。

表　読谷村における最寄品・買回品の買物出向比率

最寄品（一般食料品）			買回品（買回品総合）		
出向先		買物出向比率	出向先		買物出向比率
村内		71.6%	村内		2.4%
村外（通販、ネット販売含む）		28.4%	村外（通販、ネット販売含む）		97.6%
	嘉手納町	9.1%		うるま市	49.5%
	うるま市	8.8%		北谷町	23.5%
	北谷町	4.1%		嘉手納町	6.0%
	沖縄市	1.7%		那覇市	4.8%
	宜野湾市	1.6%		宜野湾市	4.0%
	その他市町村	3.1%		その他市町村	9.8%

資料：沖縄県買物動向調査（H26）



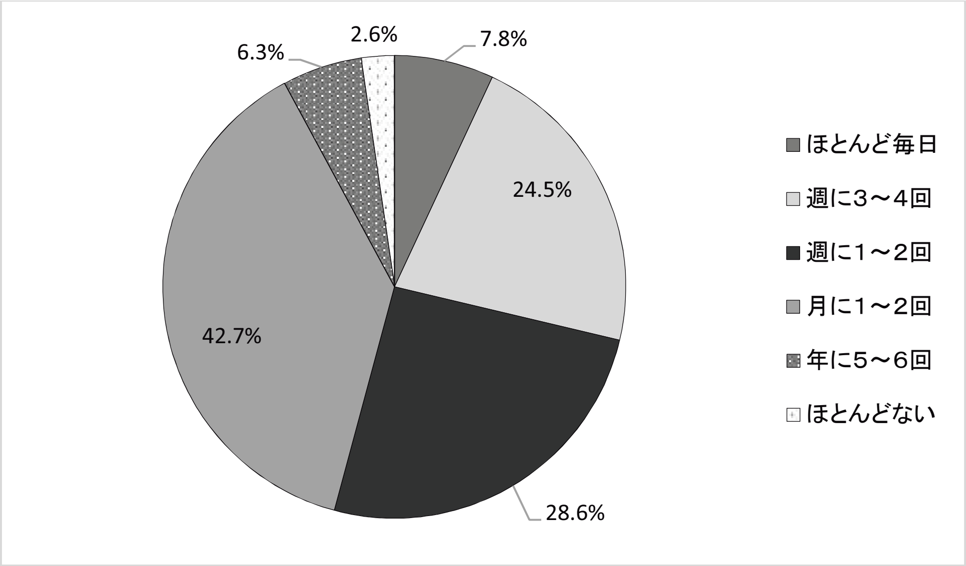


資料：沖縄県買物動向調査（H26）

図　最寄品・買回品における流出上位５市町村

③村外での買物頻度

村外での買物頻度は、月に 1～2 回が多いが、比較的ばらつきがみられる。

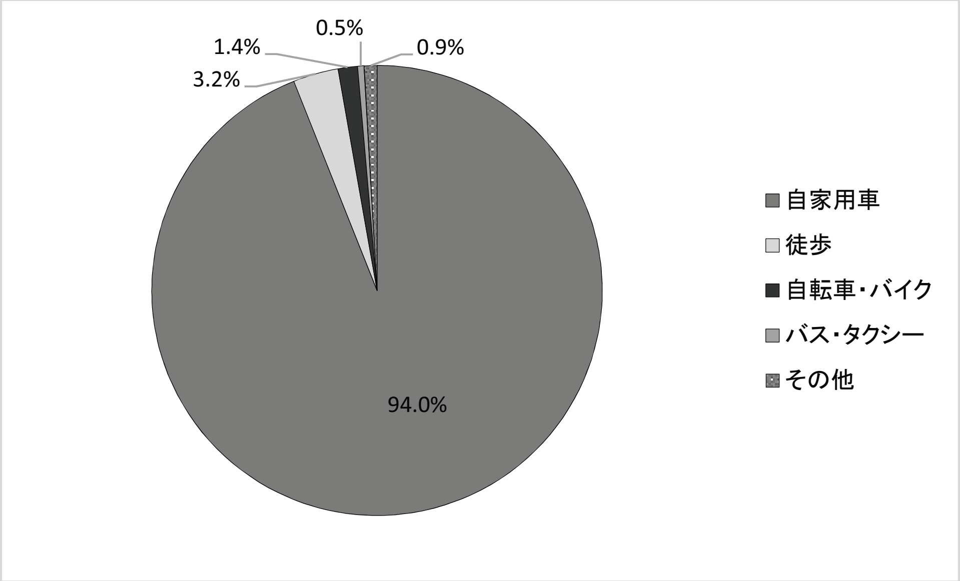


資料：沖縄県買物動向調査（H26）

グラフ　村外での買物頻度

④交通手段

買物における交通手段は、自家用車が最も多く 9 割強を占めている、次いで徒歩となっている。バス・タクシーは 0.5%で、ほとんど利用されていない。



資料：沖縄県買物動向調査（H26）

グラフ　買物における交通手段分担率

３）パーソントリップからみる交通状況

①流動における交通手段分担率

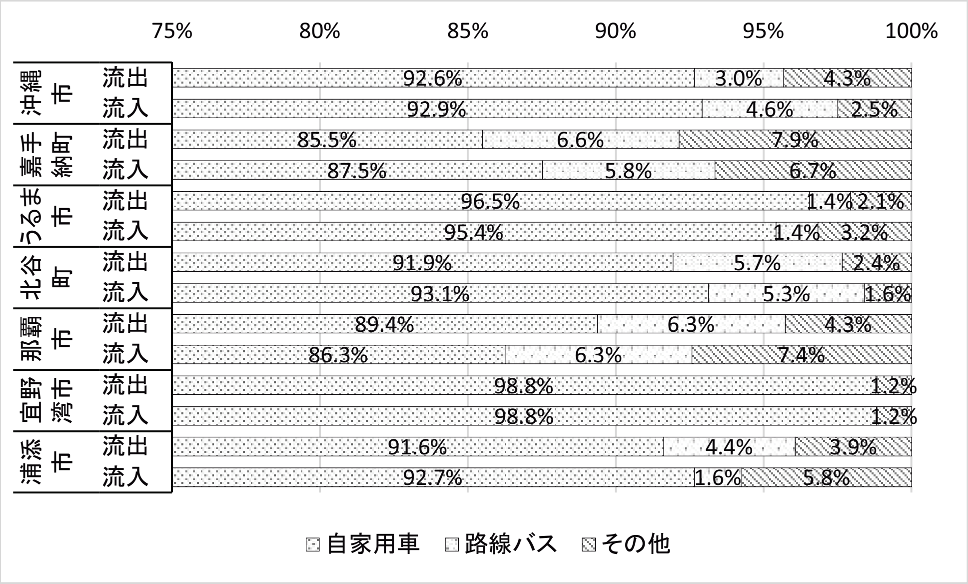
流出（読谷村から村外へ）、流入（村外から読谷村へ）のトリップ数をみると、どちらも沖縄市が最も多く、次いで嘉手納町、うるま市の順となっている。

交通手段を自家用車と路線バスで比較すると、那覇市、嘉手納町、北谷町では路線バスによる流出、流入の割合が他市町村より高くなっている。一方、宜野湾市では路線バスによる流入、流出が全くない。

表　流出・流入先とその交通手段

		流出				流入			
		合計	自家用車	路線バス	その他	合計	自家用車	路線バス	その他
沖縄市	トリップ数	5,319	4,928	161	230	5,120	4,757	235	128
	分担率	100.0%	92.6%	3.0%	4.3%	100.0%	92.9%	4.6%	2.5%
嘉手納町	トリップ数	4,335	3,706	288	341	4,719	4,130	275	314
	分担率	100.0%	85.5%	6.6%	7.9%	100.0%	87.5%	5.8%	6.7%
うるま市	トリップ数	3,039	2,934	42	63	2,962	2,826	42	94
	分担率	100.0%	96.5%	1.4%	2.1%	100.0%	95.4%	1.4%	3.2%
北谷町	トリップ数	2,466	2,267	141	58	2,505	2,333	132	40
	分担率	100.0%	91.9%	5.7%	2.4%	100.0%	93.1%	5.3%	1.6%
那覇市	トリップ数	2,128	1,902	135	91	2,139	1,845	135	159
	分担率	100.0%	89.4%	6.3%	4.3%	100.0%	86.3%	6.3%	7.4%
宜野湾市	トリップ数	1,477	1,459	0	18	1,507	1,489	0	18
	分担率	100.0%	98.8%	0.0%	1.2%	100.0%	98.8%	0.0%	1.2%
浦添市	トリップ数	1,371	1,256	61	54	1,252	1,160	20	72
	分担率	100.0%	91.6%	4.4%	3.9%	100.0%	92.7%	1.6%	5.8%

資料：第３回沖縄本島中南部都市圏パーソントリップ調査（H21）



資料：第３回沖縄本島中南部都市圏パーソントリップ調査（H21）

グラフ　流出・流入先とその交通手段分担率

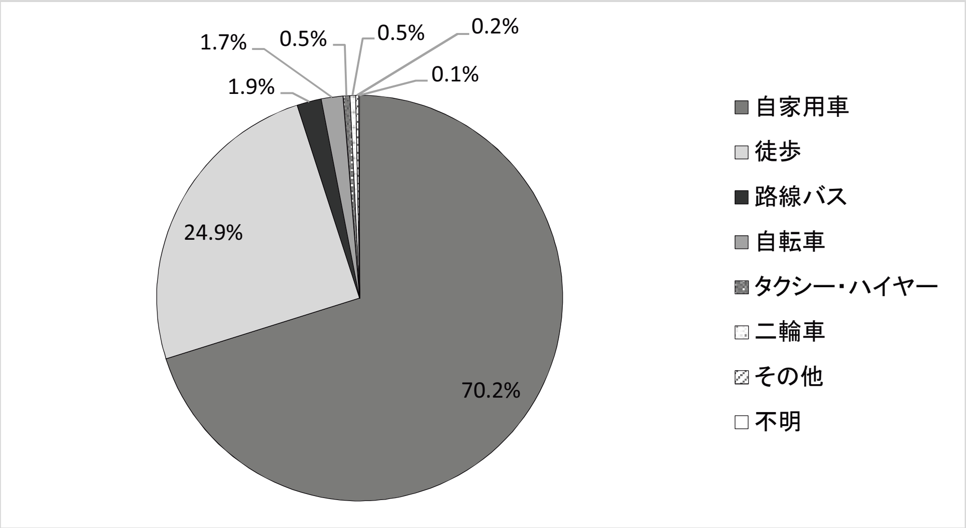
②村内の交通手段分担率

村内における交通手段分担率は、自家用車が最も多く 70.2%、次いで徒歩が 24.9%、路線バスが 1.9%となっている。村内の移動において、路線バスはほとんど利用されていないといえる。

表　村内における交通手段

	自家用車	徒歩	路線バス	自転車	タクシー・ハイヤー	二輪車	その他	不明	合計
トリップ数	34,625	12,275	958	851	260	225	120	41	49,355
分担率	70.2%	24.9%	1.9%	1.7%	0.5%	0.5%	0.2%	0.1%	100.0%

資料：第３回沖縄本島中南部都市圏パーソントリップ調査（H21）



資料：第３回沖縄本島中南部都市圏パーソントリップ調査（H21）

グラフ　村内における交通手段分担率

③村内の目的別交通手段

村内における目的別でトリップ数をみると、帰宅が最も多く、次いで私用、通学、通勤の順となっている。交通手段別で目的のトリップ数の構成比をみると、自家用車の構成比が最も高いのは通勤、次いで業務、私用の順である。路線バスの構成比が最も高いのは通学で、4.1%となっている。一方、通勤、業務、私用については、1%未満となっている。

表　目的別・交通手段別トリップ数及びその構成比

		路線バス	自家用車	タクシー・ハイヤー	二輪車	自転車	徒歩	その他	不明	目的合計
通勤	トリップ数	35	4,129	0	22	48	287	23	0	4,544
	構成比	0.8%	90.9%	0.0%	0.5%	1.1%	6.3%	0.5%	0.0%	100.0%
通学	トリップ数	244	2,305	0	0	164	3,241	0	0	5,954
	構成比	4.1%	38.7%	0.0%	0.0%	2.8%	54.4%	0.0%	0.0%	100.0%
業務	トリップ数	0	2,454	0	65	89	227	34	0	2,869
	構成比	0.0%	85.5%	0.0%	2.3%	3.1%	7.9%	1.2%	0.0%	100.0%
私用	トリップ数	117	10,747	114	34	133	2,488	0	0	13,633
	構成比	0.9%	78.8%	0.8%	0.2%	1.0%	18.2%	0.0%	0.0%	100.0%
帰宅	トリップ数	562	14,646	146	70	381	6,032	63	41	21,941
	構成比	2.6%	66.8%	0.7%	0.3%	1.7%	27.5%	0.3%	0.2%	100.0%
手段合計	トリップ数	958	34,281	260	191	815	12,275	120	41	48,941
	構成比	2.0%	70.0%	0.5%	0.4%	1.7%	25.1%	0.2%	0.1%	100.0%

資料：第３回沖縄本島中南部都市圏パーソントリップ調査（H21）

２．自動車保有状況

自動車保有台数は年々増加傾向にあり、平成 26 年では約 33 千台となっている。車種別では、軽自動車が最も多く、次いで乗用車、貨物車の順となっている。

平成 22 年の自動車保有台数の総合計である 31,240 台を、平成 22 年国勢調査の人口 38,200 人で割り、一人あたりの自動車保有台数を求めると、約 0.8 台／人で、５人中４人が自動車を１台保有していることになる。また、世帯数は 12,422 世帯であり、一世帯あたりの自動車保有台数は約 2.5 台／人となる。

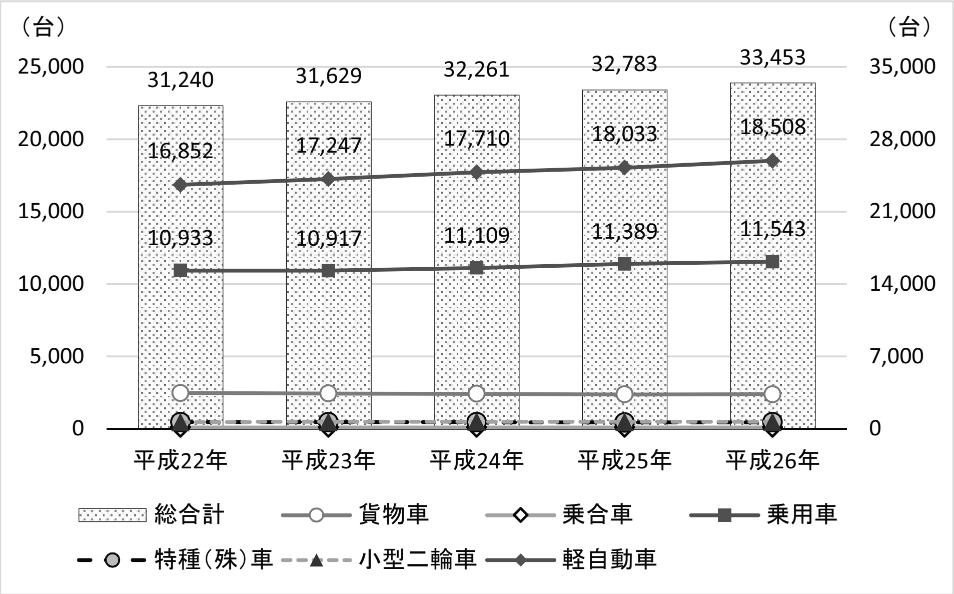
表　自動車保有状況

単位：台

	貨物車	乗合車	乗用車	特種(殊)車	小型二輪車	軽自動車	総合計
平成22年	2,473	89	10,933	444	449	16,852	31,240
平成23年	2,439	89	10,917	455	482	17,247	31,629
平成24年	2,419	88	11,109	448	487	17,710	32,261
平成25年	2,368	87	11,389	430	476	18,033	32,783
平成26年	2,382	87	11,543	450	483	18,508	33,453

注）事業用、自家用を区別しない

資料：業務概況　沖縄総合事務局陸運事務所（H22～H26）　各年３月末現在



資料：業務概況　沖縄総合事務局陸運事務所（H22～H26）　各年３月末現在

グラフ　自動車保有状況の推移

３．道路状況

１）交通量と混雑度

村内の主要道路で最も交通量が多い区間は、国道 58 号の県道 6 号線との合流点から嘉手納町との境界までの区間である。昼間 12 時間の交通量が 36,688 台、混雑度が 4.11 となっており、慢性的に混雑している。国道 58 号の県道 6 号線以北の区間は、概ね昼間 12 時間の交通量が 15,000 台程度である。

県道については、県道 6 号線の国道 58 号から県道 12 号線までの区間の交通量が多く、昼間 12 時間の交通量が 14,991 台、混雑度は 1.28 となっている。

表　主要道路の交通量と混雑度

道路区分	道路名	区間	区間延長（km）	交通量（台）		混雑度
				昼間12時間	24時間	
一般国道	国道58号	恩納村・読谷村　境 ～県道12号線	2.9	15,855	20,616	0.51
		県道12号線 ～県道6号線	1.9	15,403	20,024	0.65
		県道6号線 ～読谷村・嘉手納町　境	1.8	36,688	52,538	4.11
	国道58号	県道6号線 ～村道	1.3	16,706	21,718	1.20
一般県道	県道6号線	国道58号 ～県道12号線	5.6	14,991	20,691	1.28
		県道12号線 ～読谷村・恩納村　境	3.0	3,727	4,286	0.43
	県道12号線	国道58号 ～県道6号線	3.4	6,588	9,157	0.71
	県道16号線	国道58号 ～村道	0.9	8,444	11,737	1.00

資料：道路交通センサス（H22）

表　混雑度の目安

混雑度	目安
1.0 未満	昼間 12 時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。
1.0～1.25	昼間 12 時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が 1～2 時間（ピーク時間）ある。
1.25～1.75	ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状態。
1.75 以上	慢性的混雑状態を呈する。

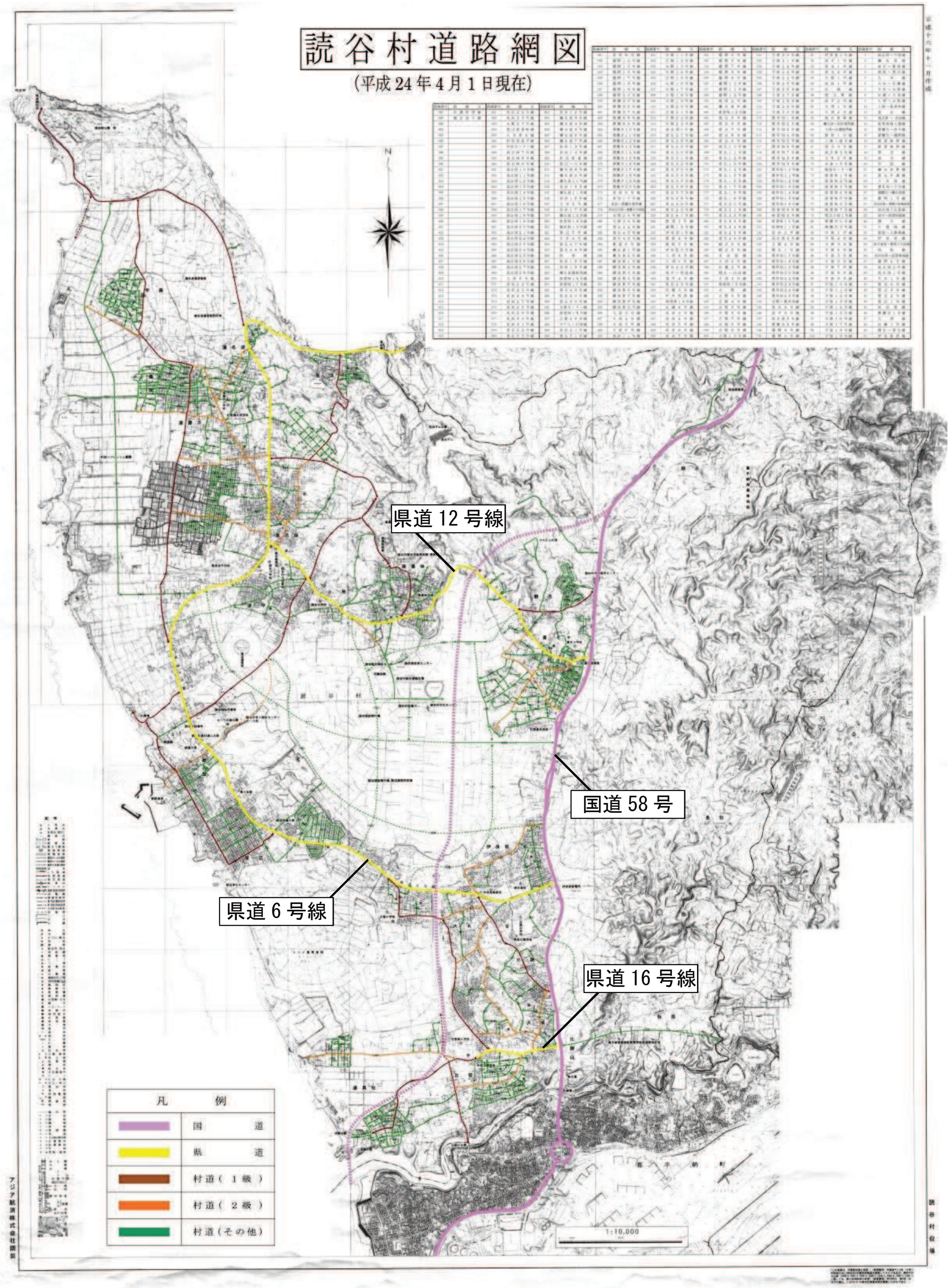
注）混雑度…交通量に対する交通容量の比（＝交通量／交通容量）

資料：沖縄県の道路 2013　沖縄県

2）道路網の状況

読谷村の道路網の状況は以下の通りである。

国道 58 号を南北の主軸とし、県道 6 号線、12 号線、16 号線の 3 本の県道が村内の主な集落をつなぐように道路網が構成されている。国道 58 号より東側は大半が軍用地であり、ほとんど道路がない。

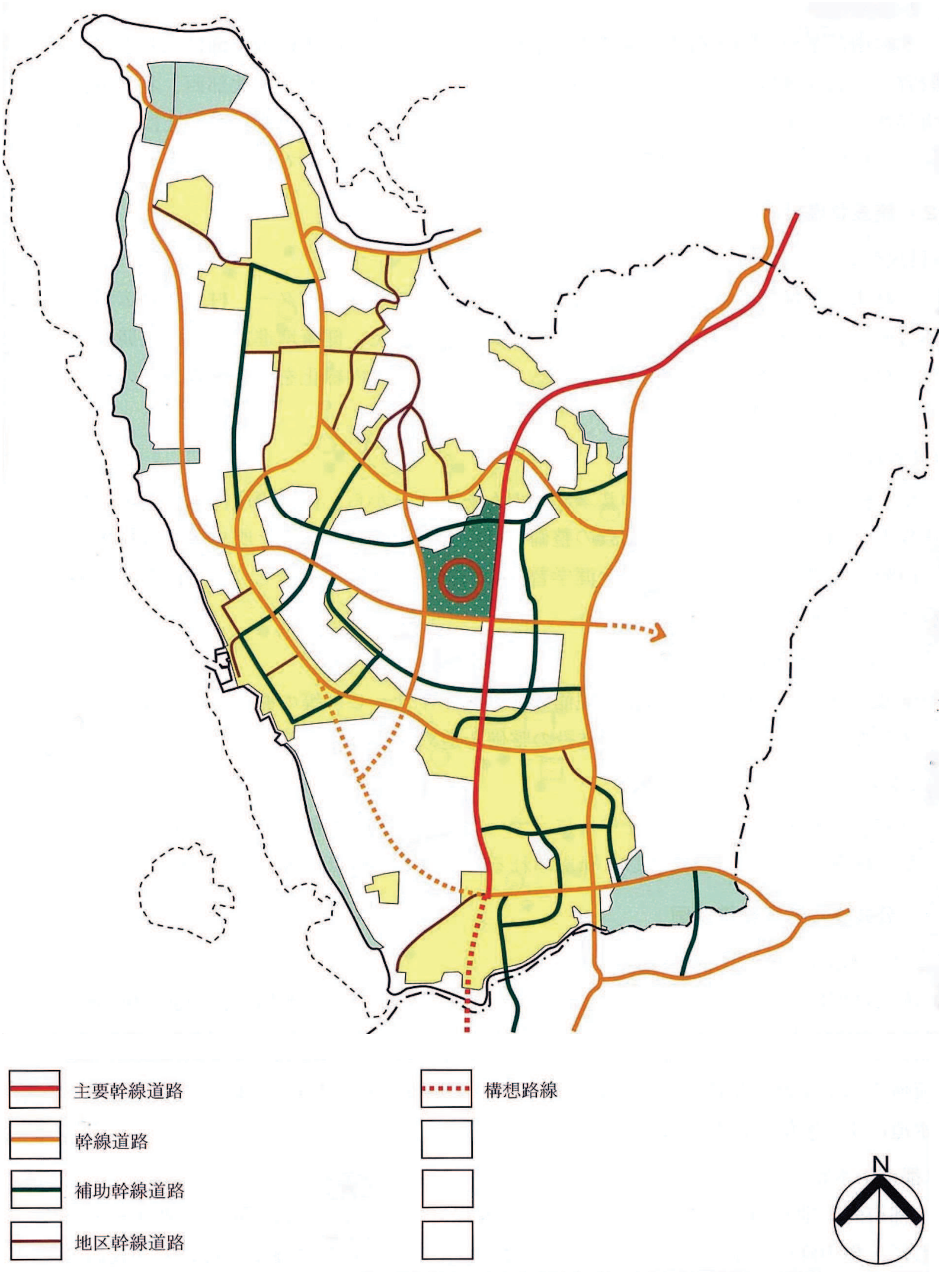


資料：土木建設課資料

図　読谷村道路網図

3）将来の道路網

第２次都市計画マスタープランの「道路網整備計画」では、現在の国道 58 号に代わり、整備中の読谷道路を「主要幹線道路」として位置づけている。その他、整備中の道路としては、村民センター地区で読谷道路と直交する村道中央残波線（東西横断道路）を「幹線道路」として位置づけている。



資料：読谷村第２次都市計画マスタープラン

図　道路網整備計画図

Ⅳ．公共交通状況調査

１．村内を運行するバスの状況

１）鳳バスの概要

「鳳バス」は読谷村のコミュニティバスであり、平成 21 年４月の運行開始より、６年が経過している。

運行開始以来、平成 22 年９月１日と平成 25 年７月 29 日の２度にわたり、運行を見直し、ルートの変更等を行っている。

平成 22 年９月１日から平成 25 年７月 28 日までの運行した路線は、平日のみの「北ルート」、「南ルート」、「東西ルート」と平日と土休日でルートが異なる「海岸ルート」の４路線であった。

平成 25 年７月 29 日のルート変更では、運転手や住民からの意見や要望等を踏まえて検討を行い、「海岸ルート」を平日、土休日ともに運休、「北ルート」に大当（波平）を追加、「南ルート」と「東西ルート」を統合して、「東西・南ルート（正）」と「東西・南ルート（逆）」を設定、土休日に「休日南北ルート」を新設した。

乗車料金は、一般が 200 円で、小中学生と満 65 歳以上、障がい者が 100 円となっており、回数券、定期券、１日フリー乗車券を発行している。

２）鳳バスの路線

現在の運行路線は、平日は「北ルート」、「東西・南ルート（正）」、「東西・南ルート（逆）」の ３ 路線、土休日は「休日南北ルート」の １ 路線で、計 ４ 路線を運行している。なお、平日の ３ 路線について、交代便及び、「東西・南ルート」の始発便、最終便では、読谷バスターミナルと読谷村役場を結ぶルートも運行している。鳳バスの運行ルートと、所要時間及び運行本数は次頁の表に示す通りである。

まず、「北ルート」は読谷村役場を起終点とし、村北側を循環するかたちで運行しているが、１ 便は読谷バスターミナル発、11 便は読谷バスターミナル着となり、途中の経由が若干異なる。

「東西・南ルート（正）」の１～７便と「東西・南ルート（逆）」の１～８便は読谷村役場を起終点とし、村南側を循環するかたちで運行しており、途中経由は若干異なるが、時計回りと反時計回りで運行している。

土休日の「休日南北ルート」は、読谷バスターミナルが起終点となっており、村中央部を経由し、イオンタウン読谷ショッピングセンターで折り返すかたちで運行している。

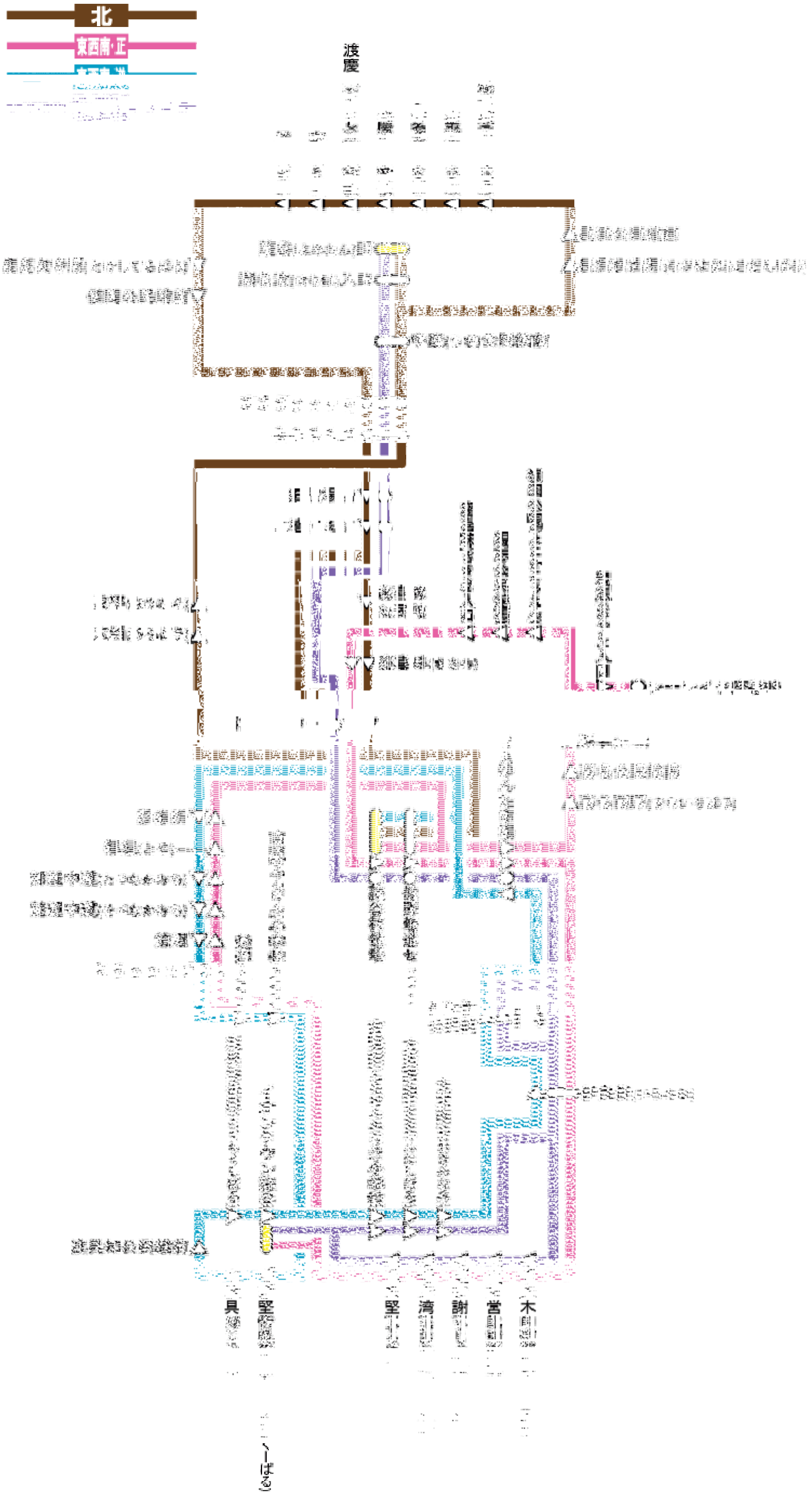
なお、運行は沖縄バス株式会社に委託を行っている。

表　鳳バスの運行ルート、所要時間及び運行本数

運行ルート			起点	経由バス停	終点	所要時間	運行本数
平日	北	1便ルート	読谷BT	瀬名波入口、長浜吹出原、長浜公民館西、船地原、川平、瀬名波、渡慶次小学校、渡慶次公民館、宇座、儀間、渡慶次寺原、儀間公民館前、高志保、高志保入口、旧役場前、上地、座喜味公民館、座喜味、福祉センター、健康増進センター	読谷村役場	39分	1本
		2～10便ルート	読谷村役場	健康増進センター、大当、波平、高志保入口、高志保、宇座公民館前、長浜吹出原、長浜公民館西、船地原、川平、瀬名波、渡慶次小学校、渡慶次公民館、宇座、儀間、渡慶次寺原、儀間公民館前、高志保、高志保入口、旧役場前、上地、座喜味公民館、座喜味、福祉センター、健康増進センター	読谷村役場	48分	9本
		11便ルート	読谷村役場	健康増進センター、大当、波平、高志保入口、高志保、宇座公民館前、長浜吹出原、長浜公民館西、船地原、川平、瀬名波、渡慶次小学校、渡慶次公民館、宇座、儀間、渡慶次寺原、儀間公民館前	読谷BT	38分	1本
		交代ルート（BT向け）	読谷村役場	健康増進センター、福祉センター、上地、旧役場前、高志保入口、高志保、宇座公民館前、瀬名波入口	読谷BT	10分	1本
		交代便ルート（役場向け）	読谷BT	瀬名波入口、宇座公民館前、高志保、高志保入口、旧役場前、上地、座喜味公民館、座喜味、福祉センター、健康増進センター	読谷村役場	15分	1本
	東西・南（正）	1～7便ルート	読谷村役場	健康増進センター、JAゆんた市場、喜名西原、喜名公民館前、喜名、親志入口、シーレイク座喜味、横田公園、親志公民館西、座喜味入口、座喜味、福祉センター、読谷村役場、健康増進センター、JAゆんた市場、伊良皆、大木中道、県営比謝団地南、比謝公民館前、大湾公民館前、古堅、イオンタウン読谷（10分待機）、古堅小学校入口、楚辺入口、大添、楚辺、楚辺中道、都屋中道、都屋、診療所、健康増進センター	読谷村役場	79分	7本
		始発便ルート	読谷BT	瀬名波入口、宇座公民館前、高志保、高志保入口、旧役場前、上地、福祉センター	読谷村役場	9分	1本
		交代・最終便ルート（BT向け）	読谷村役場	健康増進センター、福祉センター、上地、旧役場前、高志保入口、高志保、宇座公民館前、瀬名波入口	読谷BT	10分	2本
		交代便ルート（役場向け）	読谷BT	瀬名波入口、宇座公民館前、高志保、高志保入口、旧役場前、上地、座喜味公民館、座喜味、福祉センター、健康増進センター	読谷村役場	15分	1本
	東西・南（逆）	1～8便ルート	読谷村役場	健康増進センター、診療所、都屋中道、楚辺中道、楚辺、大添、楚辺入口、古堅小学校入口、古堅皆呉原、渡具知、渡具知公民館前、渡具知後原、イオンタウン読谷（10分待機）、古堅南小学校、大湾西原、大木南、伊良皆、伊良皆公民館、JAゆんた市場、健康増進センター	読谷村役場	67分	8本
		始発便ルート	読谷BT	瀬名波入口、宇座公民館前、高志保、高志保入口、旧役場前、上地、福祉センター	読谷村役場	9分	1本
		交代・最終便ルート（BT向け）	読谷村役場	健康増進センター、福祉センター、上地、旧役場前、高志保入口、高志保、宇座公民館前、瀬名波入口	読谷BT	10分	2本
		交代便ルート（役場向け）	読谷BT	瀬名波入口、宇座公民館前、高志保、高志保入口、旧役場前、上地、座喜味公民館、座喜味、福祉センター、健康増進センター	読谷村役場	15分	1本
土休日	休日南北ルート		読谷BT	瀬名波入口、宇座公民館前、高志保、高志保入口、旧役場前、上地、福祉センター、健康増進センター、JAゆんた市場、伊良皆、大木中道、県営比謝団地南、比謝公民館前、大湾公民館前、古堅、イオンタウン読谷（11分待機）、古堅南小学校、大湾西原、大木南、伊良皆、伊良皆公民館前、JAゆんた市場、健康増進センター、福祉センター、上地、旧役場前、高志保入口、高志保、宇座公民館前、瀬名波入口	読谷BT	79分	4本

注１）北…北ルート
注２）東西・南（正）…東西・南ルート（正）
注３）東西・南（逆）…東西・南ルート（逆）
注４）読谷 BT…読谷バスターミナル

資料：鳳バスルート図・時刻表



資料：バスマップ沖縄

図　鳳バス主要ルート路線図

3）村内を運行する路線バスの路線

村内を運行する路線バスの路線は、７系統８路線ある。

８路線の内訳は、那覇バスターミナルと村内に所在する読谷バスターミナルを結ぶ路線が３路線、那覇市と名護市を結ぶ路線が２路線、読谷バスターミナルと北谷町を結ぶ路線が２路線、読谷バスターミナルとうるま市を結ぶ路線が１路線となっている。

バス路線は主に国道 58 号と県道６号線上を運行している。

運行本数は、28 番読谷線（楚辺経由）が最も多く、平日で 54 往復である。次いで 62 番中部線（楚辺経由）が約 29 往復、120 番名護西空港線が約 26 往復である。

なお、名護西線、名護西空港線、石川読谷線の３系統については、国及び県が赤字補てんを行って運行している。また、村では、石川読谷線に対し、年間 120 万円程度の負担を行っている。

表　村内を運行する路線バスの運行区間、運行本数及び運行事業者

系統番号	系統名	運行区間			平日	土休日	運行
		起点	村内主要経由地	終点	運行本数	運行本数	事業者
20	名護西線	那覇 BT	大湾~親志入口(国 58)	名護 BT	名護 8 那覇 4	名護 8 那覇 4	琉／沖
120	名護西空港線	那覇空港	大湾~親志入口(国 58)	名護 BT	名護 24 那覇 28	名護 24 那覇 28	琉／沖
28	読谷線(楚辺経由)	那覇 BT	大湾~伊良皆(国 58) ~大木~読谷 BT(県 6)	読谷 BT	読谷 54 那覇 54	読谷 33 那覇 35	琉／沖
228	読谷おもろまち線	おもろまち駅前広場（那覇市）	大湾~伊良皆(国 58) ~大木~読谷 BT(県 6)	読谷 BT	読谷 12 那覇 12	読谷 10 那覇 10	琉／沖
29	読谷線(喜名経由)	那覇 BT	大湾~喜名(国 58) ~親志~読谷 BT(県 6)	読谷 BT	読谷 6 那覇 6	読谷 5 那覇 3	琉／沖
48	石川読谷線	読谷 BT	読谷 BT~長浜(県 6)	東山駐車場（うるま市）	石川 11 読谷 12	石川 7 読谷 7	沖
62	中部線(楚辺経由)	読谷 BT	読谷 BT~大木(県 6) ~伊良皆~大湾(国 58)	砂辺（北谷町）	砂辺 28 読谷 30	砂辺 23 読谷 23	琉
	中部線(喜名経由)		読谷 BT~親志(県 6) ~喜名~大湾(国 58)		砂辺 5 読谷 4	砂辺 3 読谷 3	

注１）読谷 BT…読谷バスターミナル、那覇 BT…那覇バスターミナル、名護 BT…名護バスターミナル
注２）運行事業者：琉…株式会社琉球バス交通、沖…沖縄バス株式会社

資料：バスマップ沖縄

資料：バスマップ沖縄

図　村内を運行する鳳バス及び路線バスのルート図

4）鳳バスの運行頻度

鳳バスの運行頻度は、平日の各主要ルートが概ね１時間～1 時間半に１本、補助ルートは 6～7 時台、12～13 時台、19 時台に各１便となっている。土休日は日中のみで２時間に１本の頻度となっている。

表　鳳バスの時間帯別運行本数

時間帯			6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計
平日	北	北（1便）ルート	─	1	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	1
		北（本）ルート	─	─	1	─	1	1	1	─	1	1	1	1	─	1	9
		北（11便）ルート	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	1	1
		交代ルート（BT向け）	─	─	─	─	─	─	1	─	─	─	─	─	─	─	1
		交代便ルート（役場向け）	─	─	─	─	─	─	─	1	─	─	─	─	─	─	1
	東西・南（正）	東西・南（正）ルート	─	─	1	1	─	1	─	─	1	1	─	1	─	1	7
		始発便ルート	─	1	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	1
		交代・最終便ルート（BT向け）	─	─	─	─	─	─	1	─	─	─	─	─	─	1	2
		交代便ルート（役場向け）	─	─	─	─	─	─	─	1	─	─	─	─	─	─	1
	東西・南（逆）	東西・南（逆）ルート	─	1	1	─	1	1	─	─	1	1	─	1	1	─	8
		始発便ルート	1	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	─	1
		交代・最終便ルート（BT向け）	─	─	─	─	─	─	1	─	─	─	─	─	─	1	2
		交代便ルート（役場向け）	─	─	─	─	─	─	─	1	─	─	─	─	─	─	1
土休日	休日南北ルート		─	─	─	─	─	1	─	1	─	1	─	1	─	─	4
時間帯			6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計

資料：鳳バスルート図・時刻表

5）村内を運行する路線バスの運行頻度

運行本数の最も多い 28 番読谷線（楚辺経由）の平日の運行頻度は、１時間あたり平均約３本となっている。また、那覇側の目的地のみ異なる 228 番読谷おもろまち線が１時間あたり平均約１本程度運行しており、28 番を補完している。

また、那覇側の目的地のみ異なる 20 番名護西線と 120 番名護西空港線はお互いを補完するかたちであわせて１時間あたり平均約２本、62 番中部線（楚辺経由）も１時間あたり平均約２本、48 番石川～読谷線は平均約１本となっている。

29 番読谷線（喜名経由）と 62 番中部線（喜名経由）は、村内では同じ経路で運行しているが、時間が偏っており、平日の嘉手納方面の最終便が 16 時台、土休日の最終便が 15 時台、日中の本数が少ないなど、利便性が低い。

土休日は、20 番と 120 番を除き、平日に比べ運行本数が少なくなっている。

表　村内を運行する路線バスの時間帯別運行本数

時間帯			5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合計
20	名護行	平日	—	2	3	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8
		土休日	—	2	3	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8
	那覇行	平日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1	—	—	4
		土休日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1	—	—	4
120	名護行	平日	—	—	—	—	1	2	3	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1	—	—	24
		土休日	—	—	—	—	1	3	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	1	—	—	24
	那覇行	平日	—	3	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	—	—	—	—	—	28
		土休日	—	2	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	—	—	—	—	—	28
28	読谷行	平日	—	—	2	4	3	4	4	3	4	1	5	4	2	3	1	4	4	5	1	54
		土休日	—	—	1	2	2	3	2	2	3	1	3	2	2	1	2	2	2	2	1	33
	那覇行	平日	—	3	3	3	3	3	3	4	4	3	4	2	3	4	3	5	4	—	—	54
		土休日	—	2	1	2	2	3	2	3	3	3	1	2	2	2	3	2	2	—	—	35
228	読谷行	平日	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	—	1	1	—	2	1	1	—	—	12
		土休日	—	—	—	—	1	1	1	—	1	1	—	1	1	—	1	1	1	—	—	10
	那覇行	平日	—	1	1	1	1	1	1	—	1	1	1	1	1	—	1	—	—	—	—	12
		土休日	—	1	1	1	—	1	1	—	1	1	1	—	1	1	—	—	—	—	—	10
29	読谷行	平日	—	—	—	1	—	—	—	1	—	1	—	—	—	1	2	—	—	—	—	6
		土休日	—	—	—	1	—	—	—	1	—	1	—	—	1	1	—	—	—	—	—	5
	那覇行	平日	—	1	1	1	1	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	6
		土休日	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3
48	石川行	平日	—	—	1	1	—	2	—	1	1	1	1	1	—	1	1	—	—	—	—	11
		土休日	—	—	1	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	1	—	—	—	—	7
	読谷行	平日	—	—	—	1	2	—	2	—	1	1	1	1	1	—	1	1	—	—	—	12
		土休日	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	1	—	—	—	7
62 楚辺	砂辺行	平日	—	2	1	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	1	1	—	—	—	28
		土休日	—	1	2	2	1	2	2	—	2	2	2	1	2	1	2	1	—	—	—	23
	読谷行	平日	—	—	—	2	2	3	3	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	1	1	30
		土休日	—	—	—	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	2	1	2	2	1	1	23
62 喜名	砂辺行	平日	1	—	2	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	5
		土休日	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	読谷行	平日	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	1	—	—	—	—	4
		土休日	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	3
時間帯			5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合計

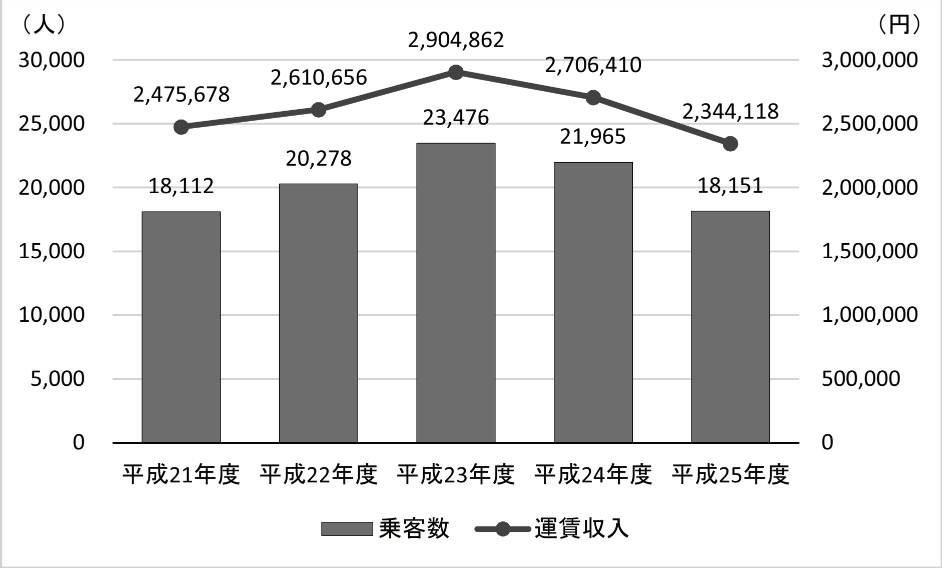
資料：バスマップ沖縄

6）鳳バスの利用状況

運行開始の平成 21 年度から平成 25 年度までの鳳バスの乗客数の推移をみる。

平成 23 年度までは乗客が増加したが、平成 24 年度から減少に転じている。その後、平成 25 年 7 月に再度運行の見直しを行い、それまで定着していた乗客が離れたこともあり、利用者はさらに減少したと考えられる。

運賃収入は、乗客数と比例して増減している。



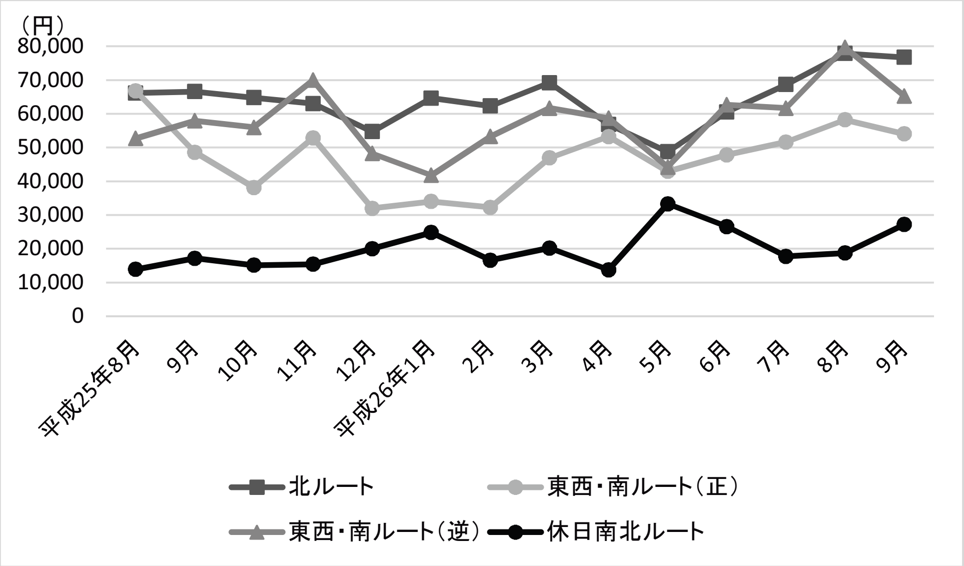
注）平成 21 年度 4 月分は 1 日～13 日までの日報がないため、その分の乗客数は概算となっている

資料：総務課資料

グラフ　鳳バス年間乗客数及び運賃収入の推移

現行の路線で運行している平成２５年８月から平成２６年９月までの各路線での運賃収入の推移をみると、運賃収入が最も多い路線は「北ルート」となっている。

また、「東西・南ルート（正）」と「東西・南ルート（逆）」は比較的類似した増減傾向を示している。



注）回数券等は含まず、現金支払いのみの収入である

資料：総務課資料

グラフ　路線別運賃収入の推移

また、１ 便あたりの大まかな状況を把握するため、各路線の月平均運賃収入を算出し、１か月で平日を２２日、土休日を８日として、各主要ルートの運行本数より便平均運賃収入を算出する。

「休日南北ルート」が 625.7 円と最も高くなっており、一般であれば約３名、それ以外であれば約６名が１便あたり利用している計算になる。一方、平日の３ルートの便平均運賃収入は「休日南北ルート」の半分程度にとどまっている。（なお、100 円での利用や運賃収入にカウントされない回数券・定期券での利用もあるため、実際の利用者はこれ以上と想定できる。）

表　鳳バスの便平均運賃収入の算出

ルート	月平均運賃収入 （H25.8～H26.9）	日平均運賃収入 （平日22日、土休日8日）	主要ルート 運行本数	便平均運賃収入
北ルート	64,337 円	2,924 円	11 本	265.8 円
東西・南ルート（正）	47,097 円	2,141 円	7 本	305.8 円
東西・南ルート（逆）	58,133 円	2,642 円	8 本	330.3 円
休日南北ルート	20,023 円	2,503 円	4 本	625.7 円

注）回数券等は含まず、現金支払いのみの収入である

資料：総務課資料

７）村内を運行する路線バスの利用状況

沖縄県が平成 25 年度に実施した路線バス移動実態調査（平日 1 日の利用状況、以下県 OD 調査）に基づき、村内の路線バスの利用状況を整理する。

①系統ごとの利用状況

■20 番名護西線（120 番と類似、朝は名護方面のみ、夜は那覇方面のみ）

村内⇔村内	村内⇒村外	村外⇒村内
1	8	32

＜村内だけ８以上＞　なし

＜村外へ８以上＞　なし

＜村外から８以上＞　【伊良皆へ】北谷町 10、嘉手納町９

・本数が少なく、利用者も少ない。

・村内の移動手段としてはほとんど利用されていない。

・北谷町及び嘉手納町から伊良皆バス停までの利用が多い。

		降車										
		大湾	比謝	比謝後原	伊良皆	喜名	親志入口	村内計	村外	不明	合計	その他詳細
乗車	大湾		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	比謝	0		0	0	0	0	0	1	0	1	
	比謝後原	0	0		0	0	0	0	0	0	0	
	伊良皆	0	0	0		0	1	1	2	0	3	
	喜名	0	0	0	0		0	0	3	0	3	
	親志入口	0	0	0	0	0		0	2	0	2	
	村内計	0	0	0	0	0	1	1	8	0	9	
	村外	0	0	3	20	3	6	32				
	不明	0	1	0	1	0	1	3				
	合計	0	1	3	21	3	8	36				
	その他詳細				北谷町10、嘉手納町9							

■120 番名護西空港線（20 番と類似、20 番が運行しない時間に運行）

村内⇔村内	村内⇒村外	村外⇒村内
7	69	69

＜村内だけ８以上＞　なし

＜村外へ８以上＞　【伊良皆から】恩納村 31

＜村外から８以上＞　【伊良皆へ】恩納村 34

・読谷村周辺では 20 番と同一経路である。

・20 番と同様に村内の移動手段としてはほとんど利用されていない。

・恩納村～伊良皆バス停間の利用が多い。

・北谷町及び嘉手納町方面との利用者は多くない。

		降車										
		親志入口	喜名	伊良皆	比謝後原	比謝	大湾	村内計	村外	不明	合計	その他詳細
乗車	親志入口		2	1	0	0	0	3	11	1	15	
	喜名	0		0	0	0	0	0	11	3	14	
	伊良皆	1	2		0	0	0	3	34	2	39	恩納村31
	比謝後原	0	0	0		0	1	1	7	4	12	
	比謝	0	0	0	0		0	0	2	0	2	
	大湾	0	0	0	0	0		0	4	1	5	
	村内計	1	4	1	0	0	1	7	69	11	87	
	村外	9	13	36	2	4	5	69				
	不明	0	2	1	0	0	1	4				
	合計	10	19	38	2	4	7	80				
	その他詳細			恩納村34								

■28 番読谷線（楚辺経由）（228 番と類似、村内部分は 62 番楚辺経由とも類似）

村内⇔村内	村内⇒村外	村外⇒村内
204	191	171

＜村内だけ８以上＞　【伊良皆へ】楚辺 16、大添・都屋・大当 10、宇座公民館 9、瀬名波入口・波平８

【大添へ】伊良皆８

＜村外へ８以上＞　【伊良皆から】北谷町 31、嘉手納町 28

＜村外から８以上＞　【伊良皆へ】北谷町 28、嘉手納町 18

・運行本数も多く、村内の移動手段として最もよく使われているバス路線である。

・特に伊良皆バス停から乗車し、村内各地で降車する利用者が多い。

・村外については、北谷町及び嘉手納町～伊良皆バス停間の利用が多い。

	降車																						
乗車	大湾	比謝	比謝後原	伊良皆	大木	古堅小学校入口	楚辺入口	大添	楚辺	都屋	読谷診療所前	大当	波平	高志保入口	高志保	宇座公民館前	瀬名波入口	読谷BT	村内計	村外	不明	合計	その他詳細
大湾		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	6	1	9	
比謝	0		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	5	4	11	
比謝後原	0	0		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	5	13	
伊良皆	0	1	0		0	0	3	10	16	10	1	10	8	7	0	9	8	3	86	69	37	192	北谷町31、嘉手納町28
大木	0	0	0	0		0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4	8	2	14	
古堅小学校入口	0	0	0	1	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	5	2	9	
楚辺入口	0	0	0	3	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	2	2	8	
大添	0	0	0	8	3	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	12	2	25	
楚辺	0	0	1	6	3	0	0	1		0	0	1	1	1	0	0	0	0	14	7	3	24	
都屋	0	1	0	3	3	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	7	13	6	26	
読谷診療所前	0	0	0	1	3	0	0	0	3	0		0	0	2	0	2	0	0	11	8	2	21	
大当	0	3	0	4	1	0	0	1	0	0	0		0	1	0	0	0	0	10	9	2	21	
波平	0	0	0	7	3	0	0	0	2	1	0	1		0	0	0	0	1	15	14	1	30	
高志保入口	0	0	0	3	0	0	0	0	1	7	1	1	0		0	0	0	0	13	8	2	23	
高志保	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0		0	0	0	6	0	1	7	
宇座公民館前	0	0	0	2	1	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0		0	0	8	2	2	12	
瀬名波入口	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		0	3	5	0	8	
読谷BT	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0		5	11	1	17	
村内計	0	5	1	42	18	0	4	16	26	25	3	14	10	12	0	13	9	6	204	191	75	470	
村外	11	5	7	50	10	4	6	15	12	4	7	4	13	4	5	3	3	8	171				
不明	2	2	5	7	7	3	2	8	6	9	4	3	10	5	0	2	6	5	86				
合計	13	12	13	99	35	7	12	39	44	38	14	21	33	21	5	18	18	19	461				
その他詳細				北谷町28、嘉手納町18																			

■228 番読谷おもろまち線（28 番と類似）

村内⇔村内	村内⇒村外	村外⇒村内
79	78	34

＜村内だけ８以上＞　【伊良皆へ】大添９

＜村外へ８以上＞　【伊良皆から】嘉手納町 21、北谷町 16

＜村外から８以上＞　なし

・村発着の利用が多い北谷町までの区間は 28 番と同一のため、傾向も類似している。

・利用は村内の移動が中心となっている。

・特に伊良皆バス停から乗車し、村内各地で降車する利用者が多い。

・村外については、伊良皆バス停から北谷町及び嘉手納町への利用が多い。

	降車																						
乗車	大湾	比謝	比謝後原	伊良皆	大木	古堅小学校入口	楚辺入口	大添	楚辺	都屋	読谷診療所前	大当	波平	高志保入口	高志保	宇座公民館前	瀬名波入口	読谷BT	村内計	村外	不明	合計	その他詳細
大湾		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	
比謝	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	
比謝後原	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	1	5	
伊良皆	0	0	0		0	0	2	9	7	4	1	1	2	0	1	4	1	0	32	42	6	80	嘉手納町21、北谷町16
大木	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
古堅小学校入口	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
楚辺入口	0	0	0	1	0	0		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	1	0	4	
大添	0	0	0	2	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	5	9	
楚辺	0	0	0	6	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	0	10	
都屋	0	0	0	2	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	3	7	
読谷診療所前	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	6	
大当	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	4	1	0	5	
波平	0	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	0		0	0	0	0	0	7	3	2	12	
高志保入口	0	0	0	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	7	2	4	13	
高志保	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	1	0	0	1	
宇座公民館前	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		0	0	6	2	2	10	
瀬名波入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0		0	2	1	3	6	
読谷BT	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1	4	1	6	
村内計	0	2	0	31	1	3	2	9	10	5	1	2	3	2	1	4	2	1	79	78	30	187	
村外	6	3	0	3	2	1	0	2	3	3	1	0	1	4	0	1	1	3	34				
不明	0	2	1	7	1	0	0	7	0	1	2	0	1	1	2	0	1	1	27				
合計	6	7	1	41	4	4	2	18	13	9	4	2	5	7	3	5	4	5	140				
その他詳細																							

■29 番読谷線（喜名経由）（村内部分は 62 番喜名経由と類似、喜名以南については、20 及び 120 と類似）

村内⇔村内	村内⇒村外	村外⇒村内
10	15	19

＜村内だけ８以上＞　　　なし

＜村外へ８以上＞　　　なし

＜村外から８以上＞　　　なし

- 運行本数自体が少なく、利用者も少ない。
- 喜名以南は 20 及び 120 と同様であり、喜名～読谷 BT 間の乗降だけをみると、さらに利用者が少ない。
- 伊良皆バス停から北谷町及び嘉手納町への利用が多い。

		降車																			
		大湾	比謝	比謝後原	伊良皆	喜名	親志	座喜味入口	座喜味	上地	旧役場前	高志保入口	高志保	宇座公民館前	瀬名波入口	読谷BT	村内計	村外	不明	合計	その他詳細
乗車	大湾		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	比謝	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	比謝後原	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	3	
	伊良皆	0	1	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	2	0	5	
	喜名	0	1	1	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	5	
	親志	0	0	0	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	2	
	座喜味入口	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	座喜味	0	0	0	2	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3	
	上地	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	
	旧役場前	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	高志保入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	2	0	2	
	高志保	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	1	1	2	
	宇座公民館前	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	1	1	1	3	
	瀬名波入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	2	2	
	読谷BT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	1	1	2	
	村内計	0	2	1	2	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	10	15	7	32	
	村外	0	2	1	11	0	1	0	2	0	1	0	0	1	0	0	19				
	不明	0	1	4	4	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	14				
	合計	0	5	6	17	3	1	0	2	0	2	1	3	1	0	2	43				
	その他詳細																				

■48 番石川読谷線

村内⇔村内	村内⇒村外	村外⇒村内
0	6	6

＜村内だけ８以上＞　　　なし

＜村外へ８以上＞　　　なし

＜村外から８以上＞　　　なし

- 運行本数が少ないが、本数自体がより少ない 20 番や 29 番と比べても、利用者が少ない。
- 村内だけの移動者はいない。

		降車									
		読谷BT	瀬名波	川平	船地原	長浜	村内計	村外	不明	合計	その他詳細
乗車	読谷BT		0	0	0	0	0	3	0	3	
	瀬名波	0		0	0	0	0	2	0	2	
	川平	0	0		0	0	0	1	0	1	
	船地原	0	0	0		0	0	0	0	0	
	長浜	0	0	0	0		0	0	0	0	
	村内計	0	0	0	0	0	0	6	0	6	
	村外	3	0	1	0	2	6				
	不明	0	0	0	0	1	1				
	合計	3	0	1	0	3	7				
	その他詳細										

■62 番中部線（楚辺経由及び喜名経由）（村内部分は 28 番及び 29 番と類似）

村内⇔村内	村内⇒村外	村外⇒村内
122	138	149

＜村内だけ８以上＞　【伊良皆から】宇座公民館前 10、波平・楚辺９、大当８

＜村外へ８以上＞　【伊良皆から】嘉手納町 14、沖縄市 11、
【高志保入口から】沖縄市 17、【比謝後原から】沖縄市 13、
【読谷 BT から】沖縄市 11、【高志保から】沖縄市９

＜村外から８以上＞　【伊良皆へ】沖縄市 10、嘉手納町 9、
【大湾へ】沖縄市 17、【高志保入口へ】沖縄市 12、
【楚辺へ】沖縄市 9、【読谷 BT へ】沖縄市 9、
【瀬名波入口へ】沖縄市９

・村内の路線は、楚辺経由は 28 番と、喜名経由は 29 番と重複している。

・特に伊良皆バス停から乗車し、村内各地で降車する利用者が多い。

・沖縄市方面への唯一の路線であるため、沖縄市との利用者が多い。

		降車														
		読谷BT	瀬名波入口	宇座公民館前	高志保	高志保入口	旧役場前	波平	上地	大当	座喜味	読谷診療所前	座喜味入口	都屋	親志	楚辺
乗車	読谷BT		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	瀬名波入口	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	宇座公民館前	0	0		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	高志保	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高志保入口	0	0	0	0		0	0	0	1	0	1	0	1	0	0
	旧役場前	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	波平	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	4	0	0
	上地	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0
	大当	1	1	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	座喜味	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
	読谷診療所前	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0		0	0	0	0
	座喜味入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
	都屋	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	親志	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	楚辺	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	喜名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大添	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	喜名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	楚辺入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	伊良皆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	古堅小学校入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大木	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	比謝後原	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1
	伊良皆	3	2	10	1	3	0	9	0	8	0	2	0	5	0	9
	比謝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	村内計	5	3	11	1	8	0	11	0	10	0	3	1	11	1	13
	村外	9	9	6	6	15	3	7	1	4	0	5	2	4	0	9
	不明	2	4	3	2	4	0	2	0	3	0	0	0	7	0	7
	合計	16	16	20	9	27	3	20	1	17	0	8	3	22	1	29
	その他詳細	沖縄市9	沖縄市9			沖縄市12										沖縄市9

		降車															
		喜名	大添	喜名	楚辺入口	伊良皆	古堅小学校入口	大木	比謝後原	伊良皆	比謝	大湾	村内計	村外	不明	合計	その他詳細
乗車	読谷BT	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	12	2	16	沖縄市11
	瀬名波入口	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3	4	3	10	
	宇座公民館前	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	7	2	0	9	
	高志保	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11	3	15	沖縄市9
	高志保入口	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	7	18	5	30	沖縄市17
	旧役場前	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	波平	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	6	5	5	16	
	上地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	
	大当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	4	
	座喜味	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	
	読谷診療所前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	5	
	座喜味入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	都屋	0	1	0	1	0	0	1	0	3	2	0	10	4	3	17	
	親志	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	楚辺	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	0	6	8	6	20	
	喜名		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	
	大添	0		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	6	0	7	
	喜名	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	楚辺入口	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	7	
	伊良皆	0	0	1	0		0	0	0	0	0	0	1	2	0	3	
	古堅小学校入口	0	1	0	0	0		0	0	0	0	0	1	0	1	2	
	大木	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	2	2	1	5	
	比謝後原	0	0	0	1	0	0	0		0	0	1	8	13	8	29	沖縄市13
	伊良皆	0	4	0	2	0	0	0	0		0	0	58	25	6	89	嘉手納町14、沖縄市11
	比謝	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	7	5	12	
	大湾	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		1	4	0	5	
	村内計	0	7	1	4	6	2	4	4	13	2	1	122	138	55	315	
	村外	2	4	5	2	3	0	5	5	19	7	17	149				
	不明	0	1	0	1	1	0	1	9	6	3	4	60				
	合計	2	12	6	7	10	2	10	18	38	12	22	331				
	その他詳細									沖縄市10、嘉手納町9		沖縄市17					

②県 OD 調査でわかること

- 村内の路線バスは伊良皆バス停に利用がかなり集中している。
- 村内完結の利用についても、伊良皆バス停での乗降が多い。
- 読谷バスターミナルは路線が集結しているものの、乗降客は多くない。
- 伊良皆バス停以北で路線が分岐しているため、伊良皆～北谷町方面の運行本数が多く、利用者も集中している。
- 那覇市や名護市へ直通する路線があり、特に那覇市方面は本数が十分に確保されているものの、宜野湾市以南や名護市との間の利用は少ない。
- 比較的通学の流出先として多い宜野湾市への路線バス利用が少ない。

③県 OD 調査からの考察

- 鳳バスの北ルートについても、路線バスの交通結節点となっている伊良皆バス停を経由させる必要があるのではないか。